

広島県立歴史博物館年報

第 31 号

平成 31 年度
(令和元年度)

広島県立歴史博物館

広島県立歴史博物館年報 第31号

平成31年度（令和元年度）

広島県立歴史博物館

目 次

御挨拶

I	沿革	1
II	施設の概要	3
1	建築の概要	3
2	館の平面図	5
III	事業の概要	7
1	展示	7
(1)	常設展示	7
(2)	ミニ展示	7
(3)	企画展示等	9
(4)	部門展示等	11
2	調査研究	14
(1)	総合研究	14
(2)	テーマ研究	15
(3)	保存処理, 保存修理	15
(4)	研修・研究会等	16
3	資料の収集・保管	17
(1)	実物資料	17
(2)	製作資料	17
(3)	映像資料	18
(4)	図書資料	18
4	学習支援	19
(1)	講演会等	19
(2)	他機関主催講演会等講師	20
(3)	展示解説	21
(4)	こども博物館教室	21
(5)	ボランティア育成	22
(6)	学校連携	22
(7)	出版	23
(8)	新聞・雑誌への連載	24
(9)	他機関への指導	24
(10)	広島県立歴史博物館友の会	24

5	利用状況	26
(1)	入館者数	26
(2)	行事等参加者数	26
(3)	利用者数等総括表	27
(4)	資料の利用状況	27
IV	組織及び運営	35
1	職員組織図	35
2	事業費・運営費	35
V	関係法規	36
1	広島県立歴史博物館設置条例	36
2	広島県立歴史博物館管理運営規則	39
3	広島県教育委員会組織規則(抜粋)	43
4	広島県博物館協議会条例	45

講師等の所属・職名・氏名は、各年度当時のもの。

御挨拶

広島県教育委員会は、昭和43年から約30年間、福山市にある草戸千軒町遺跡の継続的な発掘調査を実施し、我が国の中世史研究にとって極めて重要な成果を挙げてまいりました。

当博物館は、このような草戸千軒町遺跡出土品の保存・管理を図るとともに、草戸千軒町遺跡を中心とした瀬戸内地域の歴史・文化の調査研究を行い、その成果を公開・展示することを目的として平成元年に開館いたしました。また、江戸時代後期を代表する漢詩人であり教育者でもある菅茶山に関わる資料群「黄葉夕陽文庫」の調査研究にも力を入れてまいりました。当館では、これらの調査・研究を推進し、その成果を分かりやすく展示・公開しているところです。

この年報では、平成31年度（令和元年度）に行った当館の活動を報告いたします。当該年度は、当館が開館してちょうど30年目の節目の年に当たることから、その記念事業として、例年の講演会とは別に「開館30周年記念講演会」を3回開催しました。

また、展示会についても、「開館30周年記念」と題して、夏の企画展「世界が絶賛した浮世絵師『北斎』一師と弟子たち」と、秋の企画展「戦国の争乱から太平の世へー戦国時代から江戸時代初期の芸術」という、県民の興味関心に応える展示と調査研究成果に基づく地域密着の展示を行いました。後者の秋の企画展は、当館が所在する福山市の「福山城築城400周年記念事業」を盛り上げようと連携して開催したものです。

当館の活動は、展示公開のほか、資料の保管、学習支援など多岐にわたります。この年報は、その活動の概要を記録したものです。どうか、この年報のページをめくっていただき、当館の活動を御理解いただくとともに、是非当館を利活用していただければ、幸いです。

なお、当該年度末には、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月29日以降の講演会（考古学講座）を中止し、3月7日からは休館しました。そして、休館は年度をまたいで継続し、5月12日の開館まで続けました。

この感染症の終息は、いまだ見通せませんが、今後とも、本県に根ざした歴史・文化の調査・研究、より魅力のある展示・公開につきまして、工夫を重ねながら実施してまいりたいと考えておりますので、引き続き、皆様の御理解・御協力・御支援をお願いいたします。

令和3年1月

広島県立歴史博物館 館長

I 沿革

昭和 46(1971)年	2月	広島県長期総合計画で「歴史博物館」を計画する。
48(1973)年	5月	福山市花園町に「草戸千軒町遺跡調査所」を開設する。
49(1974)年	12月	福山市・福山市教育委員会が「県立歴史民俗資料館」の建設を陳情する。
50(1975)年	4月	「草戸千軒町遺跡調査所」を「草戸千軒町遺跡調査研究所」と改称する。
51(1976)年	4月	「広島県草戸千軒町遺跡調査研究所」を規則設置する。
	7月	福山市教育委員会が広島県教育委員会に「県立博物館」の建設を要望する。
52(1977)年	3月	広島県新長期総合計画で「草戸千軒遺跡資料館」を計画する。
55(1980)年	5月	県立博物館建設基本構想検討委員会を設置する。(～56. 3)
56(1981)年	1月	県立博物館建設基本構想検討委員会が「県立博物館建設基本構想」を答申する。
	4月	草戸千軒町遺跡調査研究所に「博物館建設準備室」を設置する。
	8月	県立博物館建設専門委員会を設置する。(～57. 3)
58(1983)年	3月	草戸千軒町遺跡調査研究所が福山市西町(博物館建設予定地)に移転する。
60(1985)年	7月	「県立博物館建設基本構想」を決定する。
61(1986)年	12月	教育委員会事務局内に「博物館開設推進本部」、草戸千軒町遺跡調査研究所に「博物館開設準備室」を設置する。
平成 元(1989)年	3月	博物館の建物が竣工する。
	4月	草戸千軒町遺跡調査研究所旧庁舎(西町)の解体撤去工事を行う。
	7月	広島県立歴史博物館設置条例を制定する。(施行 11 月)
	10月	展示工事が竣工する。
	11月	広島県立歴史博物館が開館する。それに伴い博物館開設準備室を廃止する。
2(1990)年	1月	特別展「藤の木古墳とその時代展」開催のため正月 2 日から開館する。
	4月	広島県立歴史博物館友の会を設立する。
	6月	照明学会から草戸千軒 I 展示室の照明に対して「照明普及賞」を授賞する。
3(1991)年	11月	竹原市にて「草戸千軒展」を開催する。(1～3日)
4(1992)年	2月	電算機システムを導入設置する。
	10月	博物館前に丸型郵便ポストを設置する。 JR福山駅北口に 7 館共同掲示板を設置する。(令和元年 11 月福山自動車時計博物館敷地に移設)
5(1993)年	8月	入館者が 50 万人を突破する。
6(1994)年	4月	映像コーナーを改修する。
8(1996)年	4月	「広島県草戸千軒町遺跡調査研究所」が廃止され、博物館の組織内に「草戸千軒町遺跡研究所」が設置される。
	7月	教育ボランティア活動を開始する。
	12月	文化財保護法公開承認施設の認定を受ける。
9(1997)年	2月	電算機システムを更新する。
	3月	玄関上にイメージボードを設置する。(平成 29 年 3 月撤去)
	4月	小学生向け「はくぶつかんたんけんノート」の配付を開始する。
	8月	解説ボランティア活動を開始する。
10(1998)年	8月	古文書学習会を開講する。
	11月	入館者が 100 万人を突破する。
11(1999)年	6月	インターネットにウェブページを開設する。
	11月	開館 10 周年を迎える。
12(2000)年	4月	通史展示室内に特設展示コーナーを開設する。
	6月	「考古学入門教室」「体験的歴史講座(教員対象)」を開講する。
	8月	図書ボランティア活動を開始する。
13(2001)年	5月	古文書資料整理ボランティア活動を開始する。
	8月	備後紘資料整理ボランティア活動を開始する。
14(2002)年	2月	電算機システムを更新する。
	4月	高校生以下の通常の展示の入館料を無料とする。 高校生向け「博物館探検ノート」の配付を開始する。 常設展示室の音声ガイドの提供を開始する。 特設展示コーナー(現ミニ展示コーナー)で、広島県文化財保護条例施行 50 周年記念「広島県指定文化財の公開」を開催する。(～15 年 3 月)
	6月	「けんぱく邦楽演奏会」を開始する。 考古資料整理ボランティア活動を開始する。

I 沿革

15(2003)年	5月	体験用資料を設置する。(「博物館でむかしを体験してみよう!」)
	7月	ワークショップにボランティアを導入する。
16(2004)年	4月	小学生向け「はくぶつかんたんけんノート(通史展示室編)」の配付を開始する。企画展示の解説ボランティア活動を開始する。
	6月	「広島県草戸千軒町遺跡出土品」2,930点が国の重要文化財に指定される。
	11月	開館15周年を迎える。
17(2005)年	4月	「ふくやま文化ゾーン」共通入館割引券の利用を開始する。
	5月	講演会・博物館講座を「博物館大学」という行事として行う。
18(2006)年	2月	エントランス展示を開始する。
	11月	「博物館大学」を1年間同一テーマの連続講座に改める。
	12月	通史展示室で「かぞくでクイズ」1～5の配架を開始する。
19(2007)年	3月	通史展示室「近現代コーナー」に鉄道模型を新設する。
	4月	「こども博物館教室」を“あそびの教室”と“まなびの教室”に分け、充実を図る。通史展示室「中世コーナー」に「花押クイズツール」を設置する。
	7月	草戸千軒Ⅱ展示室のテーマ展示を「木簡と墨書土器」にリニューアルする。
20(2008)年	8月	開館以来の総入館者が150万人となり、記念セレモニーを実施する。
21(2009)年	6月	比治山大学・広島県立歴史民俗資料館との共催で、公開講座を開催する(以後、平成29年度まで継続開催)。
	8月	児童・生徒が夏休みを利用して博物館に親しむ機会を提供するため「一日まるごとこども博物館の日」を開催する(以後、平成26年度まで継続実施)。
	11月	開館20周年を迎える。
22(2010)年	2月	福山市中央部循環バス路線「まわローズ」の「一日乗車券」利用者に対する入館料減免措置(団体料金適用)を実施する。
	12月	エントランス展示を実施するとともに、図書情報コーナーを設置する。
24(2012)年	1月	「お正月だよ!こども博物館」を開催する(以後、継続事業として毎年実施)。
	7月	草戸千軒Ⅰ展示室内に中世衣装(「壺装束」・「大鎧」)の着用体験コーナーを設置する。
	11月	草戸千軒Ⅱ展示室内に草戸千軒町遺跡発掘体験キット、土器パズルを設置する。
25(2013)年	11月	キャンパスメンバーズ制度を導入する。
26(2014)年	1月	愛称「ふくやま草戸千軒ミュージアム」、マスコットキャラクター「くさどっきー」「せんちゃん」を公募によって決定する。
	8月	「菅茶山関係資料」5,369点が国の重要文化財に指定される。
	11月	開館25周年を迎える。
27(2015)年	4月	頼山陽史跡資料館(広島市)が当館の分館として、公益財団法人の運営から県直営となる。
28(2016)年	4月	草戸千軒Ⅱ展示室のテーマ展示を「回転糸切り底の土師質土器杯・皿類に見る地域交流」にリニューアルする。
	10月	開館以来の総入館者が200万人となり、記念セレモニーを実施する。
29(2017)年	4月	小学生向け新「たんけんノート」の配付を開始する。
	10月	草戸千軒Ⅱ展示室を閉室し、改修する。
30(2018)年	3月	広島県立福山工業高等学校(計算技術研究部)から、「VR遣明船」を贈呈される。
	4月	小・中・高等学校が学校教育活動として利用する場合の特別の展示の入館料を無料とする。障害者手帳の交付を受けている者の特別の展示の入館料を無料とする。
	4月	月曜が祝休日に当たるときはその日後において最も近い平日を休館日とする。
	6月	「VR遣明船」の乗船体験を開始する。
	10月	草戸千軒Ⅱ展示室が近世文化展示室としてリニューアルオープンする。以後、草戸千軒Ⅰ展示室を草戸千軒展示室と改称する。
令和 元(2019)年	11月	開館30周年を迎える。
2(2020)年	3月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月7日から臨時休館とする。(～令和2年5月11日まで)

II 施設の概要

1 建築の概要

(1) 施設工事

ア 設 計

建 築 ・ 外 構 (株)佐藤総合計画

展 示 (株)トータルメディア開発研究所

イ 工事監理

広島県土木建築部都市局営繕課・(株)佐藤総合計画・(株)トータルメディア開発研究所

ウ 施 工

建 築 工 事 (株)熊谷組・(株)青木建設・(株)鈴木工務店共同企業体

強 電 設 備 工 事 九州電気工事(株)

弱 電 設 備 工 事 中国電気工事(株)

自家発電設備工事 三菱電機(株)

昇降機設備工事 (株)日立製作所

空 調 設 備 工 事 日立プラント建設(株)

衛 生 設 備 工 事 丸紅設備(株)

展 示 (株)トータルメディア開発研究所・(株)乃村工藝社・北辰映電(株)

エ 工 期

建築・外構 (着工) 昭和 62 年 7 月 7 日 ～ (完成) 平成 元年 3 月 20 日

展 示 (着工) 昭和 63 年 7 月 5 日 ～ (完成) 平成 元年 10 月 20 日

(2) 建築物の概要

ア 敷地面積 : 5,481.83 m²

イ 建築面積 : 3,265.68 m²

ウ 延床面積 : 8,940.63 m²

エ 規 模 : 地下1階 地上2階

オ 構 造 : 鉄骨鉄筋コンクリート造

(3) 仕上の概要

ア 外 壁 (厚)30 砂岩貼り・サンドブラスト仕上げ

イ 屋 根 アスファルト防水(厚)60 足付 PC板

ウ 外 部 建 具 アルミサッシュ(電解着色)

エ エントランスホール 床 花崗岩貼ジェットバーナー仕上げ ポリウレタン塗装

オ ト ッ プ ラ イ ト 複層ガラス (厚)8 熱線反射ガラス+(厚)6.8 網入りガラス

カ 講 堂 床 タフテッドカーペット

壁 (厚)30 砂岩(割肌)・ガラス繊維壁紙E P-A

天井 (厚)2.0 アルミパンチングプレート, メラミン樹脂焼付塗装

II 施設の概要

キ 特別・民俗資料収蔵庫	床 (厚)15 ブナフローリング縁甲板 壁 (厚)12 杉小巾板 天井 (厚)12 杉小巾板
ク 土器収蔵庫	床 (厚)2.0 ビニールシート 壁 モルタル塗り 天井 (厚)15 岩綿吸音板
ケ 文書収蔵庫	床 (厚)15 ブナフローリング縁甲板 壁 ギャラリーボード 天井 ギャラリーボード
コ 木器収蔵庫	床 (厚)2.0 ビニールシート 壁 モルタル下地E P-A 天井 (厚)9 プラスターボード
サ 企画展示室	床 タイルカーペット 壁 クロス貼 天井 メッシュ天井
シ 2階ロビー	床 ウィルトンカーペット 壁 (厚)30 砂岩貼 天井 (厚)19 岩綿吸音板
ス 通史展示室	床 タイルカーペット 壁 ガラス繊維壁紙E P-A 天井 メッシュ天井
セ 草戸千軒展示室	床 タイルカーペット 壁 ガラス繊維壁紙E P-A 天井 (厚)19 岩綿吸音板・(厚)8 F Gボードパテ仕上げ
ソ 近世文化展示室	天井 メッシュ天井(既存)
(7) 設計	株式会社乃村工藝社
(イ) 工事監理	広島県土木建築局営繕課
(ロ) 施工	平和建設株式会社
(ニ) 工期	平成 29 年 12 月 1 日～平成 30 年 3 月 23 日
(ホ) 仕上げの概要	床 タイルカーペット 壁 ビニールクロス貼り

(4) 設備の概要

ア 電気設備

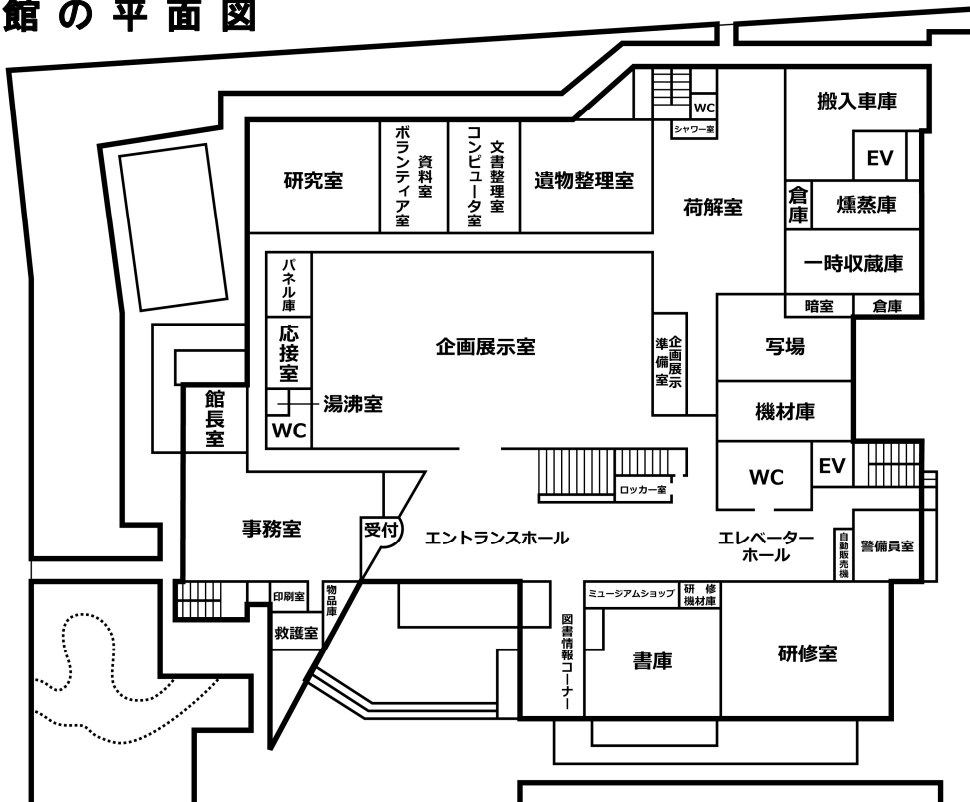
(7) 受変電 : 1,350KVA

(イ) 非常用電源 : 発電機関 ガスタービン発電装置 容量 6,600V 265KVA

II 施設の概要

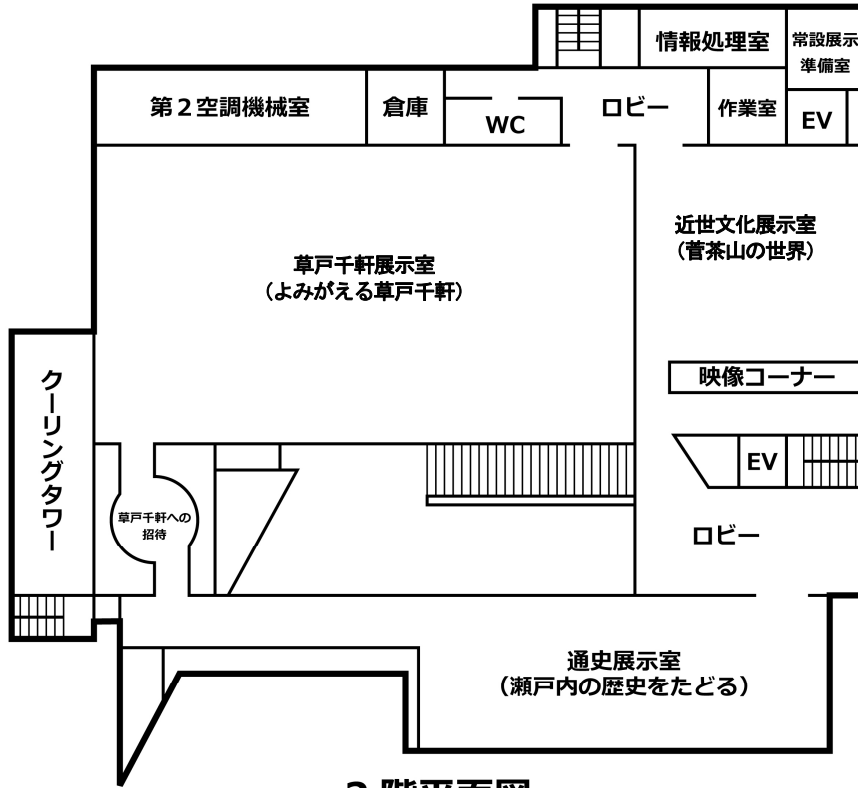
- (㊦) 火災報知その他：電話設備、インターホン設備、TV共同視聴設備、自動火災報知設備、防火扉等制御設備、ガス漏警報設備、非常用放送設備、ITV監視設備、防犯警報設備、講堂視聴覚室等の視聴覚設備
- イ 空気調和設備 空調機+単一ダクト一部ファンコイル式
ガス焚冷温水発生器 130.180U S R
- ウ 給排水衛生設備
- (㊦) 市水道
- (㊦) 受水槽
- (㊦) 屋内消火施設：スプリンクラーとハロン消火施設の併用
- (㊦) 屋外消火施設：屋外消火栓
- (㊦) 消火器設備
- エ 昇降機設備
- 油圧式エレベーター(3 t) 1基
油圧式リフト(2 t) 1基
- オ 監視機構
- 中央監視室において、電気・空調・給排水等の遠隔操作や、故障・計測の監視を行う。また、警備員室及び事務室において、火災報知・ガス漏れ・非常放送・ITV監視等を行う。

2 館の平面図

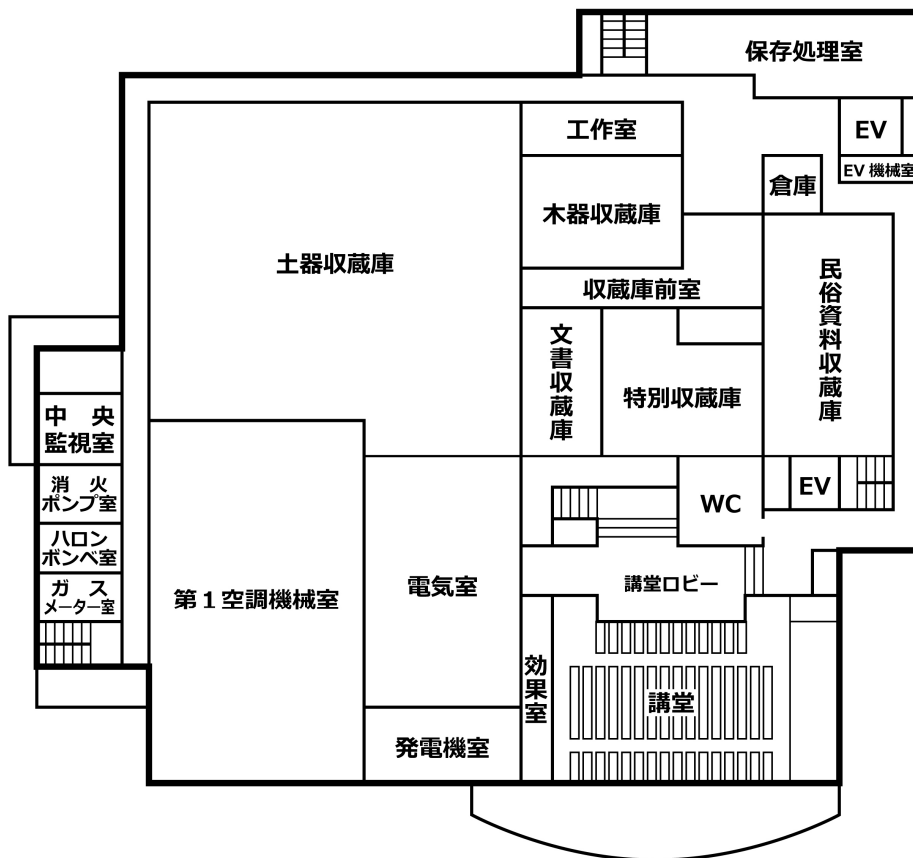


1階平面図

II 施設の概要



2階平面図



地階平面図

Ⅲ 事業の概要

1 展 示

(1) 常設展示

ア 通史展示室「瀬戸内の歴史をたどる」

本県の歴史・文化に対する理解を深め、親しむことができる環境を整えることを目指して、前年度に引き続き、展示資料をより分かりやすく解説するパネルを設置した（通史展示室の「分かる化」）。

- ・ 元亨2年（1322）備前国西大寺境内市場図・裏書
- ・ 文永11年（1274）善光寺如来造立勸進帳（安国寺）
- ・ 文明17年（1485）備後国尾道権現堂檀那引注文
- ・ 銅鐸

また、「草戸千軒への招待」コーナーにモニターを設置し、草戸千軒町遺跡の発掘調査の様子などを紹介する映像を映写した。

イ 草戸千軒展示室「よみがえる草戸千軒」

草戸千軒の町について理解を深めるため、「特集展示 出土品から分かる草戸千軒の町の人々が食べたもの」コーナーを設置した。

ウ 近世文化展示室「菅茶山の世界」

平成26年に重要文化財に指定された「菅茶山関係資料」を始めとする「黄葉夕陽文庫資料」を常設展示する。資料保護のため、2か月ごとに展示替えを行う。

(ア) 通年展示 菅茶山－菅君詩を以て世に鳴る－、廉塾－菅茶山の教育拠点－

(イ) 特集展示

回数	会期	特集テーマ	主担当者
4	平成31年4月11日～令和元年6月9日	長寿を寿ぐ	岡野 将士
5	令和元年6月15日～8月4日	菅茶山と大原呑響	伊藤 大輔
6	令和元年8月8日～10月6日	菅茶山の家族たち	岡野 将士
7	令和元年10月10日～12月8日	菅茶山と混沌社	伊藤 大輔
8	令和元年12月12日～令和2年2月2日	菅茶山と福山藩	岡野 将士
9	令和2年2月8日～4月5日	菅茶山と岡山の文人たち	岡野 将士

(2) ミニ展示

当館の通史展示室にミニ展示スペースを設け、広島県の歴史を深く掘り下げた展示を、約2か月の会期で行う。

第1回 「土器を見る」

期 間： 3月22日（金）～5月23日（木）

趣 旨： 当館所蔵の弥生時代の壺を2点展示し、両者の形や模様の違いが示す意味を紹介する。来館者に展示資料を細かく観察してもらうことを促す展示とする。

展示資料： 広島県東広島市 浄福寺2号遺跡 弥生土器（壺） 実物資料

広島県福山市 門前2号遺跡 弥生土器（壺） 実物資料

担 当： 森本 直人

第2回 「浮世絵名品選Ⅰ－北斎展に寄せて－」

期 間： 5月24日（金）～7月25日（木）

Ⅲ 事業の概要

趣 旨： 夏の企画展・開館 30 周年記念「世界が絶賛した浮世絵師『北斎』一師と弟子たち」を、7月5日(金)から開催するのに合わせて、当館所蔵「斉藤芳克コレクション」の葛飾北斎作品を2回に分けて紹介する。第1回は、北斎の「風景画(名所絵)」を紹介する。

展示資料： 葛飾北斎 「雪月花」(複製) 3点
葛飾北斎 「富嶽三十六景」(複製) 2点
葛飾北斎 「諸国名橋奇覧」(複製) 2点
葛飾北斎 「朝顔と雨蛙」(複製) 1点
葛飾北斎 「菖蒲ときりぎりす」(複製) 1点

担 当： 石橋 健太郎

第3回 「浮世絵名品選Ⅱ―北斎展に寄せて―」

期 間： 7月26日(金)～9月26日(木)

趣 旨： 夏の企画展・開館 30 周年記念「世界が絶賛した浮世絵師『北斎』一師と弟子たち」を、7月5日から開催するのに伴い、ミニ展示コーナーで当館所蔵「斉藤芳克コレクション」の葛飾北斎作品を紹介する。

第2回は、北斎の「動植物画(花鳥画)」を紹介する。

展示資料： 葛飾北斎 「群鶏」
葛飾北斎 「鯉」
葛飾北斎 「鷹」
葛飾北斎 「杜若と鯉」
葛飾北斎 「垂桜と鶯」
葛飾北斎 「朝顔と雨蛙」(複製) 1点
葛飾北斎 「菖蒲ときりぎりす」(複製) 1点

担 当： 石橋 健太郎

第4回 「中世文書を読む(10) 足利義昭御内書」

期 間： 9月27日(金)～11月21日(木)

趣 旨： 当館寄託の「守屋壽コレクション」の中から、足利義昭御内書を展示し、この文書を読み解く過程と謎解きの楽しさを紹介する。

展示資料： (天正4年〔1576〕)9月9日付け足利義昭御内書

担 当： 木村 信幸

第5回 「幕末福山の文化人」

期 間： 令和元年11月22日(金)～令和2年1月26日(木)

趣 旨： 幕末・明治維新という激動の時代、日本では志士だけではなく、数多くの学者・書家・画人などの文化人が活躍している。今回の展示では、幕末の福山藩の学者・画人が残した作品を紹介しながら、幕末福山藩の状況の一端を解説する。

展示資料： 吉田洞谷画「孔子像」 購入資料
関藤藤陰三行書 寄託資料
江木鱈水二行書 購入資料

Ⅲ 事業の概要

担 当： 伊藤 大輔

第6回 緋ボランティアの成果「緋 KASURI (1) -吉祥文様-」

期 間： 1月28日(火)～3月19日(木)

趣 旨： 緋ボランティアにより整理されている当館所蔵の緋コレクションの中から、年初めにちなみおめでたい柄(婚礼布団用を彩った鶴亀や松竹梅、宝づくしなど)の作品を紹介する。

展示資料： 「鶴亀と菊花入り幾何文」(伊予緋)、「鯉と竹」(広瀬緋)、「親子亀と幾何文」(伊予緋)、「鶴亀と松皮菱」(山陰地方)ほか(全7点)

担 当： 石橋 健太郎, 緋ボランティア

(3) 企画展示

ア 夏の企画展 「世界が絶賛した浮世絵師『北斎』一師と弟子たち」

期 間： 令和元年7月5日(金)～9月8日(日)

趣 旨： 開館30周年を記念するとともに、改めて館の存在を広くアピールするため、人気・関心が高い葛飾北斎の浮世絵を紹介する企画展を開催する。

浮世絵は、日本文化を代表する伝統芸術として、国内のみならず欧米を中心とした海外でも愛され続けてきており、特に葛飾北斎は、浮世絵作家の中で最も支持されてきた。本展では、代表作「富嶽三十六景」や「東海道五十三次」などのシリーズものから、役者絵、妖怪絵、希少な肉筆画などの北斎作品を、弟子の作品も加えて紹介する。

江戸時代の風俗や庶民の暮らしを細やかに描写する浮世絵を紹介することにより、近世の歴史及び文化を理解するための一助とする。

主 催： 広島県立歴史博物館

共 催： 中国新聞備後本社

後 援： 福山市, 福山市教育委員会, 福山商工会議所, 広島経済同友会福山支部, 一般社団法人福山青年会議所, 一般社団法人広島県観光連盟, エフエムふくやま, 尾道エフエム放送

監 修： 中右 瑛(国際浮世絵学会常任理事)

企画協力： ステップ・イースト

料 金： 一般1,000円(800円), 大学生800円(640円), 高校生520円(410円), 小・中学生350円(280円)

※ ()は前売りと20名以上の団体

入館者数： 15,242人

行 事： ・ 開催記念講演会①(博物館大学第2回)

開催日： 7月27日(土) 14:00～15:30

演 題： 北斎 波瀾万丈90年の生涯

講 師： 中右 瑛(本展監修者・国際浮世絵学会常任理事)

参加者数： 210人

・ 開催記念講演会②(博物館大学第3回)

開催日： 8月10日(土) 14:00～15:30

演 題： 浮世絵の魅力

講 師： 石橋 健太郎(当館主任学芸員)

参加者数： 142人

・ 展示解説会

Ⅲ 事業の概要

第 289 回 7 月 21 日 (日) 解説者：石橋 健太郎

臨時 7 月 27 日 (土) 解説者：中右 瑛

第 290 回 8 月 17 日 (土) 解説者：石橋 健太郎

(※ 開会式直後の展示解説：中右 瑛)

参加者数：140 人

・ ワークショップ① 浮世絵版画の実演と摺り体験

日 時：8 月 3 日・24 日 (土) (各日 10:30～・14:00～, 全 4 回)

対 象：小中学生

募集人数：各回 20 人 (小学生以下は保護者同伴)

参加費：500 円

講 師：プロ摺り師

内 容：摺り職人の摺り実演を観察した後、職人が使う道具を使い、摺りを体験し、浮世絵の制作方法を理解する。

参加者数：115 人

・ ワークショップ② 浮世絵ワークショップ

(対象 幼：幼児, 小：小学生, 要保護者同伴)

月	日	曜	時間	指導者	対 象	募集人数
				内 容		材料代
7	28	日	10 時	久保田 貴美子 / 比治山大学短期大学部准教授	小	各回 20 人
			14 時			
8	4	日	10 時	藤原 逸樹 / 安田女子短期大学教授	小	各回 20 人
			14 時			
	11	日	10 時	沼本 秀昭 / 広島修道大学教授	小	各回 20 人
			14 時			
18	日	10 時	佐伯 育郎 / 広島文教大学教授	幼 小	10 人	
			浮世絵 de コビットモ			500 円
25	日	10 時	14 時	池田 吏志 / 広島大学准教授 協力：広島県アートサポートセンター	小	各回 20 人

参加者数：105 人

担 当：石橋 健太郎

イ 秋の企画展 「戦国の争乱から太平の世へ ー戦国時代から江戸時代初期の芸術ー」

期 間：令和元年 10 月 10 日 (木) ～12 月 1 日 (日)

前期 10 月 10 日～11 月 4 日

後期 11 月 6 日～12 月 1 日

※一部資料の入替えあり。

趣 旨：令和元年 (2019) は、神辺に水野勝成が入封して 400 年に当たる。水野氏が入部する 100 年前は戦国時代で、他地域と同様に芸備地方でも多くの合戦があり、政情が不安定な状況が続いていた。こうした状況が大きく変わるのは、1600 年に芸備の領主となった福島正則による治世からである。さらに福島氏改易後は、神辺に水野勝成、広島に浅野長晟が入部し、以後芸備地方は争乱のない世の中へと移り変わっていった。

今回の展示会では、大内氏・尼子氏などの大勢力に囲まれた芸備地方の国人領主と、次第に勢力を伸ばしていった毛利氏の動向や、その後の福島正則の治世の様子について、広島県内外の考古資

Ⅲ 事業の概要

料や古文書などを中心に紹介する。

主 催： 広島県立歴史博物館

後 援： 福山市，福山市教育委員会，福山商工会議所，広島経済同友会福山支部，一般社団法人福山青年
会議所，一般社団法人広島県観光連盟，NHK広島放送局，中国放送，広島テレビ，広島ホームテ
レビ，テレビ新広島，広島エフエム放送，エフエムふくやま，尾道エフエム放送

料 金： 一般800円（640円），高・大学生520円（410円），小・中学生350円（280円）

※（ ）は前売券と20名以上の団体

入館者数： 7,984人

行 事： ・ 記念講演会①（博物館大学第4回）

開催日：令和元年10月19日（土）14：00～15：30

演 題：毛利・織田戦争と備後の国人

講 師：柴原 直樹（毛利博物館館長代理）

参加者数：175人

・ 記念講演会②（博物館大学第5回）

開催日：令和元年11月16日（土）14：00～15：30

演 題：港湾と武家権力 一草戸千軒町と各地の発掘遺跡から一

講 師：小野 正敏（国立歴史民俗博物館名誉教授）

参加者数：140人

・ 展示解説会

第291回 10月13日（日） 解説者：尾崎 光伸

第292回 10月27日（日） 解説者：尾崎 光伸

第293回 11月10日（日） 解説者：尾崎 光伸

第294回 11月24日（日） 解説者：尾崎 光伸

参加者数：135人

担 当： 尾崎 光伸

(4) 部門展示等

ア 春の展示「初公開！廉塾に伝えられたタカラモノー書画・陶磁器・漆器・硯等ー」

期 間： 平成31年4月19日（金）～令和元年6月2日（日）

趣 旨： 当館は神辺の儒学者，教育者，漢詩人の菅茶山と廉塾に関わる資料を収蔵している。そのうち菅
茶山に直接関わる資料は「菅茶山関係資料」として重要文化財に指定された。

今回の展示では，茶山の交友関係の中で，廉塾に伝わった書画や器物類を紹介し，茶山への贈り
物，廉塾での日用雑器等を展示する。

なお，展示資料の多くは，初公開の資料である。その中には，当館所蔵の「黄葉夕陽文庫資料」
の文字資料から確認できる資料も含まれる。

近世文化展示室と合わせて，菅茶山についての理解を深めていただく機会とする。

主 催： 広島県立歴史博物館

後 援： 福山市，福山市教育委員会，エフエムふくやま，尾道エフエム放送

行 事： ・ 開催記念講演会

日時：4月27日（土）14：00～15：30

Ⅲ 事業の概要

講師：菅波 哲郎（元広島県立歴史博物館副館長）

演題：初公開の伝来資料が語る茶山の足跡—書画・陶磁器・漆器・硯等—

参加者数：74人

・ 展示解説会

第287回 4月28日（日） 解説者：岡野 将士

第288回 5月19日（日） 解説者：岡野 将士

参加者数：30人

担当：岡野 将士

イ 早春の展示「黄泉への祈り—横穴式石室とは何か—」

期間：令和2年1月17日（金）～3月15日（日）

※ 3月7日（土）から、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休館

趣旨：共に開館30周年を迎える松山市考古館との連携展示会である。

本展示会では、古墳時代後期（6～7世紀）に古墳の埋葬施設として主流となった横穴式石室を取り上げる。それまでの埋葬施設とは違い、出入り可能な広い内部空間を持つ横穴式石室の導入は、石室内部での葬送儀礼の深化を促し、人々の死生観にも影響を与えた。愛媛県松山市葉佐池古墳は未盗掘の横穴式石室が見つかった全国的にも稀少な事例であり、この調査で明らかになった葬送儀礼を紹介する。また、石室内に残された副葬品の造形美や高度な工芸技術を紹介するとともに、それらの華美な品々と一緒に葬られた被葬者像にも迫る。

主催：広島県立歴史博物館

後援：福山市、福山市教育委員会、福山商工会議所、広島経済同友会福山支部、一般社団法人福山青年会議所、一般社団法人広島県観光連盟、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、エフエムふくやま、尾道エフエム放送

行事：・ 開催記念講演会

第1回（第2回考古学講座）

日時：1月25日（土）

演題：黄泉の国の成立—古墳と葬送儀礼—

講師：土生田 純之（専修大学文学部教授）

参加者数：210人

第2回（第3回考古学講座）

日時：2月8日（土）

演題：黄泉の国の光景—愛媛県松山市葉佐池古墳の調査—

講師：栗田 茂敏（〔公財〕松山市文化・スポーツ振興財団 元職員）

参加者数：150人

第3回（第4回考古学講座）

日時：2月29日（土）

演題：境目・広島県の古墳文化—備後地域の横穴式石室—

講師：脇坂光彦（芸備友の会代表）

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

第4回（第5回考古学講座）

日時：3月14日（土）

Ⅲ 事業の概要

演題：公開直前！福山市二子塚古墳の全貌

講師：内田 実（福山市文化振興課課長補佐）

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

・ 展示解説会

第 295 回 1月19日（日） 解説者：森本 直人

第 296 回 3月1日（日） 解説者：森本 直人

参加者数：30人

担 当： 森本 直人

2 調査研究

博物館では、草戸千軒町遺跡を中心とした瀬戸内地域及び広島県の歴史と文化に関する調査研究を進め、資料を系統的に収集・整理・活用し、教育・文化及び学術の振興を図っている。

(1) 総合研究

一つのテーマについて、考古・歴史・民俗・美術工芸の各分野が連携して、総合的な研究を行うものである。

ア 黄葉夕陽文庫資料の基礎調査と研究

趣 旨： 当館が所蔵する「黄葉夕陽文庫資料」について、カード作成などの資料整理事業を実施するとともに、重要文化財「菅茶山関係資料」と合わせて、より多角的に調査・研究を進め、その成果を展示その他の事業によって博物館利用者に分かりやすく提供できるよう整理し、資料目録の刊行など早期の全容公開を図る。

内 容： ・ 黄葉夕陽文庫資料整理事業運営協議会を開催し、資料整理や活用等の方針について協議した。

実施日：令和2年3月13日（水）

指導者：頼 祺一（広島大学名誉教授）・岡部 幹彦（元文化庁主任文化財調査官）

- ・ 未指定の「黄葉夕陽文庫資料」について、指定品との関連付けを継続実施中。
- ・ 廉塾の書庫に残されていた書画類・器物類の寄託契約を締結。

イ 総合調査「芦田川下流域の中世」

趣 旨： 草戸千軒町遺跡の調査研究成果を、芦田川下流域を中心とする福山湾岸全体の中世史に位置付けるため、関連する資料の分析を進める。

内 容： 草戸千軒町遺跡の調査研究成果を瀬戸内海地域の歴史に位置付けるために設置している通史展示室の、中世コーナーの史料についての解説を3年計画で見直すこととした。第3年目は、元亨2年（1322）備前国西大寺境内市場図・裏書、文永11年（1274）善光寺如来造立勸進帳及び文明17年（1485）備後国尾道権現堂檀那引注文を対象とし、翻刻文、現代語訳及び解説文を付して完了した。

ウ 草戸千軒町遺跡に関する調査研究

趣 旨： 当館が保管する草戸千軒町遺跡出土資料は、長期間に及ぶ中世の生活の様子を具体的にうかがうことができることから、我が国の歴史研究にとって極めて価値が高い。しかし、発掘調査報告に掲載されているものは僅少であることから、引き続き、その他の数十万点に及ぶ膨大な資料の分析・研究を進め、その成果を中世史研究に役立てるとともに、博物館において展示などの学習支援活動で公開・活用する。

内 容： ・ 平成8年度から資料の種別ごとに調査研究報告を刊行している。平成31年度は、椀・杯・皿類の整理を行うとともに、考古ボランティアの活動として石塔類整理を行った。

- ・ 草戸千軒町遺跡出土遺物整理指導委員会を設置し、資料整理や活用等の方針について協議した。

開催日：令和2年3月21日（土）

委 員：松下 正司（比治山大学名誉教授）、本多 博之（広島大学大学院教授）、鈴木 康之（県立広島大学教授）、佐藤 昭嗣（元岡山商科大学教授）

(2) テーマ研究

研究分野や調査地域にテーマをしぼって調査研究を進めるもので、その成果は次年度以降の展示などで公表する。

ア 広島県の重要文化財

趣 旨： 当館では、平成4年に『広島県の重要文化財』展を開催し、広く広島県内の重要文化財を紹介した。

その後は、当館では重要文化財を一堂に会する展示は開催されていない。

そこで、この展示会では、平成4年以降に国の重要文化財及び広島県重要文化財に指定された文化財を広く展示することにより、広島県内の歴史と文化を理解するための一助とするとともに、優れた文化財を展覧できる機会を提供することを目的とする。

内 容：平成4年以降に指定された国及び県の重要文化財など

担 当：岡野 将士

(3) 保存処理、保存修理

博物館が取り扱う多様な材質でできた様々な資料を、それぞれの特性に応じた適切な保存方法を考案・研究し、資料の永久保存と活用を図るものである。重要文化財「広島県草戸千軒町遺跡出土品」及び未指定の草戸千軒町遺跡出土資料の保存処理並びに重要文化財「菅茶山関係資料」の保存修理を、国庫補助事業として行った。

ア 重要文化財「広島県草戸千軒町遺跡出土品」

重要文化財に指定された2,930点について、保存と活用を図るために、早急な処理が必要な資料から保存処理を行う。平成31年度は、第Ⅲ期5か年計画の5年目に当たり、木製品・金属製品・漆器について、国庫補助金を得て解体・復元・修理を行った。

対 象：木製品3点（形代、編具、籠）、金属製品2点（刀装具・甲冑部品）、漆器1点（皿）及び石製品1点（石塔）

処理方法：樹脂含浸処理及び専用支持台製作

担 当：尾崎 光伸、森本 直人

イ 草戸千軒町遺跡出土資料

重要文化財に指定されていない草戸千軒町遺跡出土資料のうち、第4次～第6次調査で出土した鉄製品について、国庫補助金を得て保存処理を行った。

対 象：鉄製品150点

処理方法：セスキ炭酸ナトリウム水溶液による脱塩の後、パラロイドNAD-10Vによる樹脂含浸処理

担 当：尾崎 光伸

ウ 重要文化財「菅茶山関係資料」

作成後200年以上経過し全般的に劣化が進んでいるため、保存・活用が困難なものが多く、特に書画類は早急な措置が必要である。そこで、保存・活用の観点から緊急度の高い資料から順次計画的に保存修理を実施する。平成31年度は、第Ⅰ期5か年計画の5年目で、書画類3点の保存修理を行い、より安定した状態で保管するための保存箱を製作した。

対 象：柳燕紫陽花図、猿猴図、富士図 計3点

修理方法：本紙の修復、表装裂の取り替え、保存箱の新調

担 当：岡野 将士

Ⅲ 事業の概要

(4) 研修・研究会等

ア 研究会・研究会等への参加

名称	開催日	主催	会場	参加者
ネットワーク管理者・担当者研修	4月17日	業務プロセス改革課	福山庁舎	酒巻 宏文 久下 実 石橋健太郎
公開承認施設担当者会議, 国宝・重要文化財(美術工芸品)防災・防犯対策研修会	6月20日～21日	文化庁	文化庁講堂	伊藤 大輔
芸備地方史研究会	6月30日	芸備地方史研究会	広島県情報プラザ	久下 実
令和元年度保存担当学芸員研修	7月8日～19日	独立文化財法人国立文化財機構 文化財活用センター東京文化財研究所	東京文化財研究所	久下 実
広島県人権啓発指導者養成研修の参加及び資料調査	8月1日	エソール広島	エソール広島	久下 実
ネットワーク管理者・担当者研修	8月1日	業務プロセス改革課	福山庁舎	酒巻 宏文 尾崎 光伸 川上 慎治 岡野 将士 石橋健太郎
ネットワーク管理者研修	8月5日	業務プロセス改革課	呉合同庁舎	久下 実
古代歴史文化協議会第10回研究会	8月7日～8日	古代歴史文化協議会	奈良県立橿原考古学研究所	森本 直人
教育センターの研修聴講	8月19日	広島県立教育センター	広島県立教育センター	加藤 謙 石橋健太郎 吾田 朱里
I PMセミナー・I PM研修	10月23日～25日	九州国立博物館	九州国立博物館	森本 直人 石橋健太郎
日本博物館協会中国支部しまねミュージアム協議会	10月24日	日本博物館協会中国支部 しまねミュージアム協議会	松江博物館 ほか	大上 裕士
国宝修理装演師連盟定期研修会	11月15日	一般社団法人国宝修理装演師連盟	京都府民総合交流プラザ京都テルサ	岡野 将士 伊藤 大輔
若手研修	12月16日～19日	自治総合研修センター	自治総合研修センター	森本 直人
川崎市民ミュージアムの被災資料レスキュー作業及び研修	1月16日～17日	全国歴史民俗系博物館協議会	川崎市市民ミュージアム	久下 実
若手研修	1月7日～10日	自治総合研修センター	自治総合研修センター	伊藤 大輔
古代歴史文化協議会第11回研究会	1月29日～31日	古代歴史文化協議会	岡山県庁分庁舎	森本 直人
被災収蔵品レスキュー作業研修	2月13日～14日	全国歴史民俗系博物館協議会	川崎市市民ミュージアム	森本 直人
被災収蔵品レスキュー作業研修	3月5日～6日	全国歴史民俗系博物館協議会	川崎市市民ミュージアム	尾崎 光伸 石橋健太郎

3 資料の収集・保管

展示・調査研究などの目的のため、考古・歴史・民俗・美術工芸等に関する資料を、実物資料・複製・模型等の形態で収集・保管している。

(1) 実物資料

ア 実物資料点数

	考古	歴史	民俗	美工	その他	計
昨年度まで	22,967	15,685	3,131	149	39	41,971
31年度（令和元年度）	0	209	14	4	0	227
合計	22,967	15,894	3,145	153	39	42,198

イ 収集資料等一覧

分野	資料名	点数	収集形態	備考
民俗	塩竈神社奉納額、釜屋道具（割十能・炭かき・煨蹴・鳶口）、長尺、葉箱、銭枿	12点	寄附	
歴史	土地売買契約書（両備軽便鉄道敷設関連）	5点	寄附	
美工	平田玉圃画襖絵	4点	寄附	
歴史	虎図 岡本豊彦画 菅茶山賛	1点	寄附	
歴史	絹本着色 孔子像（複製）	1点	寄附	
歴史	廉塾伝来器物類及び書画類	202点	寄託	
民俗	葉味箆筒（葉味残存）、硝石片（金属製蓋つき容器入り）一式	2点	寄附	

(2) 製作資料

ア 製作資料点数

	考古	歴史	民俗	美工	その他	計
昨年度まで	46,215	100	36	11	19	46,381
31年度（令和元年度）	0	0	0	0	1	1
合計	46,215	100	36	11	20	46,382

イ 製作資料一覧

分野	資料名	点数	収集形態	備考
その他	着用体験用衣装 直垂	1着	寄附	広島県立海田高等学校家政科生徒製作

Ⅲ 事業の概要

(3) 映像資料

ア 映像資料本数

	16ミリ	ビデオ・DVD	レーザーディスク	スライド	その他	計
昨年度まで	34	28	13	9	1	85
31年度（令和元年度）	0	0	0	0	0	0
合計	34	28	13	9	1	85

(4) 図書資料

当館が収蔵している図書資料は、考古・歴史・民俗・美術工芸等に関する書籍、歴史・文化財関係の雑誌、全国各地の発掘調査報告書、他の博物館・資料館等で開催された展覧会の図録、研究機関発行の機関誌など多岐にわたるが、当館の歴史博物館としての性格上、その多くが研究分野の図書である。

収集方法は、購入・寄贈・寄附に大別される。寄贈図書は当館刊行物との交換で他館から贈られる図書資料であり、寄附図書は寄附行為により当館に寄せられた図書である。当館では図書の貸出しは行っていないが、1階に図書室を設けているので、入館者は配架されている図書を見ることができる。

現在までに収蔵、登録処理の完了した図書資料数は、次のとおりである。

ア 収蔵図書資料数（単位：冊）

	購入	寄贈	寄附	計
昨年度まで	13,215	91,346	31,278	135,839
31年度（令和元年度）	110	1,214	0	1,324
合計	13,325	92,560	31,278	137,163

4 学習支援

学習支援とは、郷土の歴史や文化等について県民が自ら学ぶ機会を提供し、当館職員及び外部講師がその活動を支援するものである。

㊦ 講演会等

当館が主催・共催した講演会等は、次のとおりである。

ア 講演会

(計14回)

実施日	区分	演題	講演者	参加人数
4月27日(土)	春の展示開催記念講演会・博物館大学①	初公開の伝来資料が語る茶山の足跡―書画・陶磁器・漆器・硯等―	元広島県立歴史博物館 副館長 菅波 哲郎	74人
6月22日(土)	開館30周年記念講演会① 文化講演会	鏡研究の最前線―ヤマト政権の成り立ちを探る―	大阪大学大学院 教授 福永 伸哉	170人
7月20日(土)	備陽史探訪の会共催公開講座①	渡辺氏と草戸千軒	備陽史探訪の会 会長 田口 義之	161人
7月27日(土)	博物館大学② 夏の企画展開催記念講演会①	北斎 波瀾万丈90年の生涯	北斎展監修者 国際浮世絵学会常任理事 中右 瑛	210人
8月10日(土)	第3回 博物館大学 夏の企画展開催記念講演会②	浮世絵の魅力	当館主任学芸員 石橋 健太郎	142人
8月25日(日)	備陽史探訪の会共催公開講座②	三原城の歴史と変遷―石垣調査を中心に―	三原城研究会 共同代表 福井 万千	122人
9月21日(土)	開館30周年記念講演会②	武士の日本史―侍についての二・三の論点―	神戸大学名誉教授 高橋 昌明	125人
10月12日(土)	平山郁夫文化財セミナー	世界遺産 敦煌	平山郁夫美術館 特任研究員 松崎 哲	30人
10月19日(土)	博物館大学④ 秋の企画展開催記念講演会①	毛利・織田戦争と備後の国人	毛利博物館館長代理 柴原 直樹	175人
11月16日(土)	博物館大学⑤ 秋の企画展開催記念講演会②	港湾と武家権力―草戸千軒町と各地の発掘遺跡から―	国立歴史民俗博物館 名誉教授 小野 正敏	140人
11月23日 (土・祝)	開館30周年記念講演会③	福山から見る「通貨の日本史」	安田女子大学 准教授 高木 久史	85人
12月14日(土)	考古学講座①	倭の五王の時代の三次・庄原	広島県立歴史民俗資料館 学芸員 村田 晋	96人
1月25日(土)	考古学講座② 早春の展示開催記念講演会①	黄泉の国の成立―古墳と葬送儀礼―	専修大学文学部教授 土生田 純之	210人
2月8日(土)	考古学講座③ 早春の展示開催記念講演会②	黄泉の国の光景―愛媛県松山市葉佐池古墳の調査―	(公財)松山市文化・ スポーツ振興財団 元職員 栗田 茂敏	150人

イ 博物館大学(企画展開催記念講演会と兼ねて実施。)

(計5回)

実施日	演題	講師	参加人数
4月27日(土)	初公開の伝来資料が語る茶山の足跡―書画・陶磁器・漆器・硯等―	元広島県立歴史博物館 副館長 菅波 哲郎	74人
7月27日(土)	北斎 波瀾万丈90年の生涯	北斎展監修者 国際浮世絵学会常任理事 中右 瑛	210人
8月10日(土)	浮世絵の魅力	当館主任学芸員 石橋 健太郎	142人

Ⅲ 事業の概要

10月19日(土)	毛利・織田戦争と備後の国人	毛利博物館館長代理 柴原 直樹	175人
11月16日(土)	港湾と武家権力ー草戸千軒町と各地の発掘遺跡からー	国立歴史民俗博物館 名誉教授 小野 正敏	140人

ウ 考古学講座

(計3回)

開催日	テーマ	講師	参加人数
12月14日(土)	倭の五王の時代の三次・庄原	広島県立歴史民俗資料館 学芸員 村田 晋	96人
1月25日(土)	黄泉の国の成立ー古墳と葬送儀礼ー	専修大学文学部教授 土生田 純之	210人
2月8日(土)	黄泉の国の光景ー愛媛県松山市葉佐池古墳の調査ー	(公財)松山市文化・ スポーツ振興財団 元職員 栗田 茂敏	150人

(2) 他機関主催講演会等講師

他機関が主催する講演会・講座等の講師を務めた。

(計11回)

講演会名	主催	開催日	会場	演題等	講演者
ふどきの丘春まつり	広島県立歴史民俗資料館	5月12日(日)	広島県立歴史民俗資料館	VR 遣明船	加藤 謙 木村 信幸
史跡ハイキング	北広島町教育委員会	5月19日(日)	野田山城跡	野田山城跡を歩く	木村 信幸
博物館教育学講義	県立広島大学人間文化学部	7月22日(月)	県立広島大学 広島キャンパス	広島県立歴史博物館の教育事業について	久下 実
小学校社会科専門研修講座	広島県立教育センター	8月19日(月)	広島県立教育センター	江戸時代・明治時代の開発と産業ー呉市広町「干拓地」からみえることー	久下 実
広島県立図書館連携展示合同説明会	広島県立図書館	10月10日(木)	広島県立図書館	戦国の争乱から太平の世へ	尾崎 光伸
ふどきの丘秋まつり	広島県立歴史民俗資料館	10月13日(日)	広島県立歴史民俗資料館	VR 遣明船	加藤 謙 久下 実
広島県立芦品まなび学園高等学校講演会	広島県立芦品まなび学園高等学校	11月7日(木)	広島県立芦品まなび学園高等学校	むかしの地図とわたしたち	久下 実
福山老人大学教養科講義	福山市老人大学	11月7日(木)	福山市老人大学	秋の企画展について	尾崎 光伸
北広島町戦国の庭歴史館公開講座	北広島町戦国の庭歴史館	11月9日(土)	北広島町戦国の庭歴史館	吉川興経の生涯	木村 信幸
松山市考古館特別展関連講演会	松山市考古館	2月2日(日)	松山市考古館	発掘・草戸千軒町遺跡ー中世瀬戸内の港町ー	下津間康夫
広島県呉地域職員行政課題研修会	西部総務事務所呉支所	2月3日(月)	呉合同庁舎	瀬戸内海の歴史と文化	久下 実

Ⅲ 事業の概要

(3) 展示解説

ア 通常の展示解説会

(計13回)

実施日	区分	内容	解説者	参加人数
4月28日(日)	第287回	春の展示「初公開! 廉塾に伝えられたタカラモノ-書画・陶磁器・漆器・硯等-」	岡野 将士	15人
5月19日(日)	第288回	春の展示「初公開! 廉塾に伝えられたタカラモノ-書画・陶磁器・漆器・硯等-」	岡野 将士	15人
7月21日(日)	第289回	夏の展示「世界が絶賛した浮世絵師「北斎」一師と弟子たち-」	石橋健太郎	25人
7月27日(土)	臨時	展示解説会	中右 瑛	45人
8月17日(土)	第290回	夏の展示「世界が絶賛した浮世絵師「北斎」一師と弟子たち-」	石橋健太郎	52人
9月3日(火)	臨時	マスコミ向け内見会(神辺城城中品)	尾崎 光伸	13人
10月6日(日)	臨時	広島県立歴史民俗資料館展示解説会	久下 実	46人
10月13日(日)	第291回	秋の展示「戦国の争乱から太平の世へ-戦国時代から江戸時代初期の芸術-」	尾崎 光伸	30人
10月27日(日)	第292回	秋の展示「戦国の争乱から太平の世へ-戦国時代から江戸時代初期の芸術-」	尾崎 光伸	8人
11月10日(日)	第293回	秋の展示「戦国の争乱から太平の世へ-戦国時代から江戸時代初期の芸術-」	尾崎 光伸	12人
11月24日(日)	第294回	秋の展示「戦国の争乱から太平の世へ-戦国時代から江戸時代初期の芸術-」	尾崎 光伸	85人
1月19日(土)	第295回	早春の展示「黄泉への祈り-横穴式石室とは何か-」	森本 直人	15人
3月1日(日)	第296回	早春の展示「黄泉への祈り-横穴式石室とは何か-」	森本 直人	15人

(4) こども博物館教室

子供たちを対象として、体験しながら歴史や地域の伝統産業について学ぶ機会を提供する。

ア 夏休みだよ! こども博物館教室

(計4回)

実施日	行事名	講師	参加人数
7月20日(土)	折り紙を折ろう	作田 芳子, 作田 英樹	9人 (子供5人, 大人4人)
7月27日(土)	藍染めをしよう	緋ボランティア	63人 (子供22人, 大人41人)
8月10日(土)	い草を織ろう	河内 花絵	21人 (子供11人, 大人10人)
8月17日(土)	ミニ畳を作ろう	和ごころ工房 秦 郁次郎	32人 (子供19人, 大人13人)

イ お正月だよ! こども博物館

実施日	内容	参加人数
1月2日(水) ~ 1月3日(木)	こまわし・はねつき・けんだま・お手玉・貝合わせ・ぬりえ・投扇興・かるた・ヨーヨー	1,184人 (子供522人, 大人662人)

Ⅲ 事業の概要

(5) ボランティア育成

より多様な生涯学習の機会を設けるため、博物館業務をボランティア活動の場として提供した。登録人数 47 人。

(業務の重複あり)

ア ボランティアの活動内容等

業務区分	活動内容	活動日時	登録人数
解説	来館者に常設展示の解説を行う	毎週日曜日 10:00~15:00	14人
図書	来館者に歴史文化情報の提供を行う	毎週水曜日 10:00~15:00, 毎月第2・4土曜日	16人
備後緋資料整理	備後緋資料の整理を行う	毎月第4火曜日 10:00~15:00	5人
古文書資料整理	当館所蔵の古文書の整理を行う	毎月第2・4木曜日 10:00~15:00	5人
考古資料整理	当館所蔵の考古資料の整理を行う	毎月第1水曜日・第3土曜日 10:00~15:00	13人
鉄道	当館所蔵の鉄道資料の整理を行う	随時	1人
その他	ワークショップなどの実施・補助等	随時	6人

(6) 学校連携

学校からの要望に応じて、各種授業、講演、職場体験学習・インターンシップの受け入れを行った。

ア 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の無料団体見学

平成元年の開館から平成30年度までの状況及び平成31年度（令和元年度）の状況は、次のとおりである。

区分	県内		県外		合計	
	学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数
昨年度まで	3,965	235,747	249	14,697	4,214	250,444
31年度（令和元年度）	69	3,714	6	628	75	4,342
総合計	4,034	239,461	255	15,325	4,289	254,786

※平成19年度分から幼稚園・保育所の数を含む

イ ゲストティーチャー

(計 11 件)

実施日	学校名・学年等	内容	派遣職員
5月8日（水）	福山市立今津小学校6年	当館の紹介（博物館の見どころ等）	岡野 将士
5月9日（木）	東広島市立高屋東小学校6年	修学旅行の事前学習	久下 実
5月10日（金）	東広島市立中黒瀬小学校6年	修学旅行の事前学習	久下 実
5月17日（金）	福山市立引野小学校6年	修学旅行の事前学習	久下 実 森本 直人 伊藤 大輔
6月6日（木）	福山市立川口小学校6年	修学旅行の事前学習	森本 直人
9月25日（水）	尾道市立向島中央小学校6年	修学旅行の事前学習	久下 実
9月26日（木）	福山市立駅家西小学校6年	修学旅行の事前学習	伊藤 大輔
10月8日（火）	三原市立久井小学校6年	総合的な学習の時間	石橋健太郎
11月7日（木）	広島県立芦品まなび学園高等学校	ゲストティーチャー	久下 実
1月14日（火）	広島県立高陽東高等学校	「郷土の風土と文化」ゲストティーチャー	尾崎 光伸
1月23日（木）	福山市立瀬戸小学校6年	ゲストティーチャー	尾崎 光伸
2月18日（火）	三次市立川地中学校2年	茶道体験	石橋健太郎

ウ 職場体験学習・インターンシップ

実施日	学校名	参加人数
6月18日（火）	広島県立福山北特別支援学校高等部2年	9人
7月12日（金）	広島県立福山北特別支援学校高等部2年	8人
7月19日（金）	福山暁の星女子中学校3年 生徒事前訪問	1人
7月23日（火）	チャレンジウィークふくやま 生徒事前訪問	4人
7月25日（木）	チャレンジウィークふくやま 生徒事前訪問	1人

Ⅲ 事業の概要

7月31日(水)～8月1日(木)	広島県立沼南高等学校	1人
8月7日(水)～8月11日(日・祝)	県庁インターンシップ 神戸大学3年・広島大学3年	2人
8月20日(火)～8月22日(木)	チャレンジウィークふくやま	5人
8月28日(水)～9月1日(日)	BINGO OPENインターンシップ2019 福山大学2年・3年	4人
9月6日(金)	広島県立福山北特別支援学校高等部2年	17人
10月3日(木)	近畿大学附属広島中学校福山校3年 事業所体験事前訪問	3人
10月23日(水)～10月24日(木)	近畿大学附属広島中学校福山校3年	3人
11月6日(水)	福山暁の星女子中学校3年	1人
11月8日(金)	広島県立福山北特別支援学校高等部2年	9人
12月20日(金)	広島県立福山北特別支援学校高等部2年	9人

エ 教員免許更新講習

実施日	参加人数
8月7日(水)	44人

オ 博物館実習

博物館法施行規則第1条の規定に基づく大学からの受入れの要請により、実施する。

(ア) 博物館実習

期間	受入大学名	参加人数
7月24日(水)～7月30日(火)	福山大学・尾道市立大学・大谷大学・安田女子大学・山口大学・愛媛大学・茨城大学	8人

(イ) 博物館見学実習

期日	受入大学名	参加人数
5月18日(土)	徳島文理大学	5人
5月26日(日)	岡山理科大学	99人
8月28日(水)	尾道市立大学	12人
9月12日(木)	県立広島大学	7人
10月8日(火)	福山大学	44人
11月1日(金)	岡山商科大学	7人
11月24日(日)	広島大学	38人

(7) 出版

ア 『広島県立歴史博物館ニュース』

平成31年度の博物館の活動状況などを紹介するニュース第119号～第122号を作成した。

号数	発行日	内容	執筆者
119	6月3日	夏の企画展「世界が絶賛した浮世絵師「北斎」一師と弟子」 ミニ展示「浮世絵名品選Ⅰー北斎展に寄せてー(風景画)」 開館30周年に寄せて こども歴史なぜなに相談室 江戸時代の船ってどんな船? 頼山陽史跡資料館特集展 「頼山陽と絵画」 こども博物館教室の御案内 ほか	石橋健太郎 石橋健太郎 加藤 謙 伊藤 大輔 花本 哲志 大上 裕士
120	8月23日	秋の企画展「戦国の争乱から太平の世へー戦国時代から江戸時代初期の芸術」 はくぶつかんこぼれ話 玉蘊の息子の作品に出会う～偶然に導かれた「小さな発見～」 ミニ展示「中世文書を読む⑩ー足利義昭御内書ー」 こども歴史なぜなに相談室 江戸時代の広島(安芸・備後)の港町について 頼山陽史跡資料館企画展 「挑戦者たち～現代刀の世界～」 広島県立歴史博物館友の会の御紹介	尾崎 光伸 久下 実 木村 信幸 伊藤 大輔 花本 哲志 友の会

Ⅲ 事業の概要

121	12月3日	早春の展示「黄泉への祈りー横穴式石室とは何かー」 分館情報 頼山陽と平田玉蘊～まだ見ぬ人に～ 令和元年度考古学講座の御案内 テーマ「横穴式石室を探る」ほか	森本 直人 花本 哲志 大上 裕士
122	3月18日	春の展示「芸備の文人たちー知の世界に遊ぶー」 頼山陽史跡資料館特集展「頼杏坪」 広島県立海田高等学校の生徒さんによるファッションショーが行われました！ほか	伊藤 大輔 渡部 史之 大上 裕士

イ 調査研究

(ア) 『広島県立歴史博物館 研究紀要』 第22号 A4判, 76ページ

- ・ 江戸時代中・後期における広島藩の杉原紙・諸口紙・半紙について 石川 良枝, 地主 智彦
- ・ 広島県重要文化財「絹本着色仏涅槃図」(持光寺蔵) について 濱田 宣
- ・ 備後南部の弥生土器編年について (2)
ー後期中葉新段階から終末期ー 尾崎 光伸
- ・ 資料紹介 二塚古墳出土馬具の再報告 森本 直人
- ・ 二塚古墳出土杏葉の保存処理について 山岡 奈美恵, 尾崎 誠

(8) 新聞・雑誌への連載

ア ビジネス情報

掲載日	内容	執筆者
4月20日	春の展示「初公開！廉塾に伝えられたタカラモノー書画・陶磁器・漆器・硯等ー」	岡野 将士
5月20日	ミニ展示「浮世絵名品選Ⅰー北斎展に寄せてー(風景画)」	石橋健太郎
6月20日	夏の企画展「世界が絶賛した浮世絵師『北斎』ー師と弟子たちー」	石橋健太郎
7月20日	近世文化展示室「菅茶山と大原呑響」	伊藤 大輔
8月20日	ミニ展示「浮世絵名品選Ⅱー北斎展に寄せてー動植物画(花鳥図)」	石橋健太郎
9月20日	ミニ展示「中世文書を読む(10)ー足利義昭御内書ー」	木村 信幸
10月20日	秋の企画展「戦国の争乱から太平の世へー戦国時代から江戸時代初期の芸備ー」	尾崎 光伸
11月20日	ミニ展示「幕末福山の文化人」	伊藤 大輔
12月20日	近世文化展示室「菅茶山と福山藩」	岡野 将士
1月20日	早春の展示「黄泉への祈りー横穴式石室とは何かー」	森本 直人
2月20日	ミニ展示「緋ボランティアの成果 緋 KASURI(1)ー吉祥文様ー」	石橋健太郎
3月20日	近世文化展示室「菅茶山と岡山の文人たち」	岡野 将士

(9) 他機関への指導

名称	開催日	主催	会場	参加者
芦田川水系河川整備アドバイザー ー会議	5月22日(水)	国土交通省中国地方整備局 福山河川国道事務所	福山労働会館	木村 信幸
今治市村上水軍博物館協議会	11月8日(金)	今治市教育委員会	今治市村上水軍 博物館	木村 信幸
芦田川水系河川整備アドバイザー ー会議	1月17日(金)	国土交通省中国地方整備局 福山河川国道事務所	福山労働会館	木村 信幸

(10) 広島県立歴史博物館友の会

広島県立歴史博物館友の会は、歴史・文化についての会員の教養を豊かにするとともに、当館の業務に協力し、文化財保護と地域文化の向上に寄与することを目的とする。会員数171人(令和2年3月31日現在)。

平成31年度に、会則を改正し、より効率的・効果的な運営体制に改め、次の行事・活動を行った。

Ⅲ 事業の概要

ア 会議等の開催

開催日	行事名
5月25日(土)	監査
5月25日(土)	理事会
6月22日(土)	総会

イ 講演会の開催

開催日	行事名	演題・講師	参加者
6月22日(土)	文化講演会(博物館と共催)	演題：鏡研究の最前線ーヤマト政権の成り立ちを探るー 講師：大阪大学大学院教授 福永 伸哉	170人

ウ 研究会(研修旅行)の開催

開催日	行事名	行き先	備考
3月7日(土)	伊予の古墳を巡るバスツアー	大西藤山歴史資料館 妙見山古墳 葉佐池古墳 松山市考古館	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

5 利用状況

(1) 入館者数

ア 常設展

(単位：人・日)

月別	開館 日数	有料入館者数					無料入館者数					入館者 総計	1日平均
		個人（前売含む）		団体		合計	一般	留学生	小・中・高等		合計		
		一般	大学生	一般	大学生				学校行事	個人			
4	26	508	15	226	5	754	592	0	1030	292	1,914	2,668	103
5	27	596	45	358	101	1,100	640	2	337	190	1,169	2,269	84
6	22	316	9	213	57	595	549	0	282	67	898	1,493	68
7	26	164	22	60	126	372	3,307	0	118	106	3,531	3,903	150
8	28	337	41	106	3	487	3,920	0	428	413	4,761	5,248	187
9	25	384	47	221	8	660	1,476	0	392	195	2,063	2,723	109
10	27	228	25	54	44	351	1,679	2	893	163	2,737	3,088	114
11	26	172	17	133	0	322	4,709	0	497	485	5,691	6,013	231
12	24	262	28	129	36	455	553	0	149	96	798	1,253	52
1	26	625	32	178	3	838	1,826	0	157	172	2,155	2,993	115
2	20	676	37	95	2	810	824	34	59	163	1,080	1,890	95
3	6	66	16	16	1	99	64	0	0	23	87	186	31
合計	283	4,334	334	1,789	386	6,843	20,139	38	4,342	2,365	26,884	33,727	119

イ 企画展・特別展

月別	開館 日数	有料入館者数							無料入館者			入館者 総計	1日平均
		個人（前売含む）			団体			合計	一般	子どもの 日・文化の日 等	合計		
		一般	高・大生	小・中生	一般	高・大生	小・中生						
7	23	2,268	94	182	579	28	4	3,155	1,591	0	1,591	4,746	206
8	28	3,341	201	426	806	43	14	4,831	3,290	0	3,290	8,121	290
9	7	1,231	50	72	244	6	3	1,606	769	0	769	2,375	339
小計	58	6,840	345	680	1,629	77	21	9,592	5,650	0	5,650	15,242	263
10	19	453	18	27	353	3	0	854	833	0	833	1,687	89
11	26	570	32	22	267	45	1	937	5,181	0	5,181	6,118	235
12	1	52	1	3	12	0	1	69	110	0	110	179	179
小計	46	1,075	51	52	632	48	2	1,860	6,124	0	6,124	7,984	174
合計	104	7,915	396	732	2,261	125	23	11,452	11,774	0	11,774	23,226	223

(2) 行事等参加者数

月別	講演会	博物館 大学	考古学 講座	展示 解説会	古文書 学習会	こども 博物館 教室	学校利用 等	その他	合計
4	74	(74)		15		0	1,030	96	1,215
5	0			15		0	337	677	1,029
6	170			0		0	282	217	669
7	651	(210)		133		72	143	651	1,650
8	264	(142)		52		53	462	417	1,248
9	125			13		0	396	261	795
10	222	(175)		118	123	0	904	169	1,536
11	225	(140)		97		0	497	742	1,561
12	96		(96)	0		0	149	116	361
1	210		(210)	15	3	1,184	166	112	1,690
2	256		(150)	0	6	0	36	236	534
3	0			15	2	0	0	0	17
合計	2,293			473	134	1,309	4,402	3,694	12,305

※ 博物館大学、考古学講座の参加者数は、講演会参加者数に含まれる。

Ⅲ 事業の概要

(3) 利用者数等総括表

年度	常設展		企画展		特別展		入館者合計	学習支援	施設利用他	合計
	日数	入館者数	日数	入館者数	日数	入館者数				
元	126	80,118	0	0	31	86,915	167,033	2,078	564	169,675
2	311	77,923	53	19,444	9	5,023	102,390	3,774	740	106,904
3	306	71,087	53	23,595	19	14,290	108,972	4,000	691	113,663
4	303	62,057	56	15,766	0	0	77,823	3,937	517	82,277
5	309	70,845	56	14,366	29	14,215	99,426	3,901	359	103,686
6	302	60,457	57	13,076	44	9,758	83,291	5,300	315	88,906
7	304	62,133	53	15,451	46	29,871	107,455	5,441	1,118	114,014
8	306	49,633	58	10,610	0	0	60,243	2,042	1,508	63,793
9	305	43,290	58	6,954	0	0	50,244	3,579	278	54,101
10	305	45,823	58	8,662	27	93,353	147,838	7,526	417	155,781
11	305	39,704	46	10,782	0	0	50,486	3,152	676	54,314
12	304	33,476	27	2,889	54	13,397	49,762	2,731	168	52,661
13	306	36,423	27	2,796	36	13,805	53,024	3,281	177	56,482
14	307	35,184	34	4,301	29	4,444	43,929	2,511	59	46,499
15	308	44,109	63	6,635	0	0	50,744	6,407	521	57,672
16	312	37,188	55	7,564	0	0	44,752	6,082	707	51,541
17	304	33,747	78	15,409	0	0	49,156	5,650	2,514	57,320
18	305	43,505	60	7,239	34	38,329	89,073	7,538	1,168	97,779
19	308	35,445	85	6,198	0	0	41,643	14,229	4,585	60,457
20	314	69,397	73	10,824	35	42,946	123,167	19,331	5,336	147,834
21	308	32,062	80	11,034	0	0	43,096	15,934	2,506	61,536
22	302	31,879	80	9,098	0	0	40,977	16,459	4,562	61,988
23	315	37,443	47	2,744	30	23,690	63,877	24,337	4,026	92,240
24	309	32,798	99	7,549	0	0	40,347	25,155	2,395	67,897
25	314	40,663	49	3,640	47	12,622	56,925	28,125	1,347	86,397
26	315	37,813	42	7,544	45	23,930	69,287	29,163	1,774	100,224
27	309	31,674	81	14,738	0	0	46,412	21,337	3,086	70,835
28	307	42,445	86	17,750	0	0	60,195	29,547	2,372	92,114
29	306	47,058	52	11,485	57	14,412	72,955	29,498	2,714	105,167
30	302	35,992	96	16,024	0	0	52,016	26,764	1,809	80,589
31	283	33,727	104	23,226	0	0	56,953	23,530	1,030	81,513
合計	9,320	1,435,098	1,866	327,393	572	441,000	2,203,491	382,339	50,039	2,635,859

(4) 資料の利用状況

ア 収蔵・保管資料の貸出

No.	貸出先	利用目的	資料名	貸出期間
1	京都国立博物館	時宗二祖上人七百年御遠忌記念「国宝一遍聖絵と時宗の名宝」での展示	遊行上人縁起絵（常称寺本）常称寺所蔵（重要文化財） 4巻 真教上人坐像 常称寺所蔵 1 軀	4月初旬～ 6月下旬
2	広島県立歴史民俗資料館	常設展「ひろしまの原始・古代」での展示	馬取遺跡出土縄文土器（深鉢） 2点 寺町廃寺出土軒丸瓦 3点 寺町廃寺出土土鷗尾 1点 千間塚古墳出土土鳥形瓶（レプリカ） 1点 千間塚古墳出土土環状提瓶（レプリカ） 1点 三角縁神獸鏡（再現品） 1点	4月1日～ 3月31日
3	三原市教育委員会	常設展での展示及び調査研究に使用	石器（宿禰島遺跡出土）（府中高校考古資料）ほか（51点）	4月1日～ 3月31日
4	福山市	しんいち歴史民俗博物館常設展示及び調査研究	石器（宮脇遺跡出土）（府中高校考古資料）ほか（全694点）	4月1日～ 3月31日
5	九州国立博物館	文化交流展「海の道、アジアの路」（平常展）での展示	伝アフリカ採集両面加工の礫器 1点	4月1日～ 3月31日

Ⅲ 事業の概要

6	広島県立歴史民俗資料館	春の展示会「やきものタイムトラベル！」での展示	草戸千軒町遺跡出土資料等 30点	4月6日～ 6月下旬
7	頼山陽史跡資料館	特集展「頼山陽と絵画」での展示	題後赤壁図 1幅 赤壁後遊図 1幅	4月下旬～ 8月上旬
8	島根県立古代出雲歴史博物館	企画展「たたら一鉄の国 出雲の実像」における展示	平城宮木簡複製品「三上郡調鉄壹拾口天平十八年」 1点 兵庫北関入船納帳（複製品） 1点 草戸千軒町遺跡出土品 37点	6月12日～ 9月30日
9	神奈川県立歴史博物館	特別展「北からの開国ー海がまもり,海がつかない日本ー」における展示	レザノフ関連資料屏風（貼り混ぜ） 1点 瓊浦筆記 3点 露西亜人図 1点	6月下旬～ 9月初旬
10	福山城博物館	水野勝成入封 400年記念特別展「福山の誕生ー初代勝成から五代勝岑までー」での展示	伊阿弥貞高筆 殖蘭図録（複製） 1点	6月下旬～ 9月初旬
11	香川県立ミュージアム	特別展「祭礼百態ー香川・瀬戸内の「風流」ー」での展示	風俗御問状答書 一・四（重要文化財） 2点	7月15日～ 9月30日
12	福山市歴史資料室	企画展「語りつがれる水野勝成」での展示	市政回顧録原稿 1点	7月31日～ 9月20日
13	神奈川県立歴史博物館	時宗二祖上人七百年御遠忌記念特別展「真教と時衆」での展示	遊行上人縁起絵（常称寺本）常称寺所蔵（重要文化財） 4巻	8月中旬～ 12月上旬
14	広島城	企画展「えがかれた江戸時代の広島」での展示	縮景園全図（浅野侯別邸泉邸図） 1舗 中国行程記 一・二 2冊	8月26日～ 10月25日
15	福山市歴史資料室	企画展「語りつがれる水野勝成」での展示	昭和三十三年起 水野勝成公報徳会書類綴 1点 聡敏神社関係綴 1点 〔聡敏神社改築造営の趣意と計画〕（表紙に資料名なし） 1点	9月13日～ 11月6日
16	広島県立歴史民俗資料館	特別企画展「守屋壽コレクションの精華ー国内最大級の古地図コレクションーでの展示	守屋壽古地図コレクション 42点	9月26日～ 11月27日
17	広島城	企画展「江戸時代の天文学」での展示	方円星図 1巻	11月29日～ 2月7日
18	周防大島交流センター	企画展「宮本常一,旅と鉄道」での展示	府中ー下川辺間サボ 1点 両備鉄道沿線案内図絵（復刻） 1点 宮島航路新造船就航記念券（複製） 1点 山陽本線電化完成 特急「しおじ」乗車記念券（複製） 1点 特急増発記念券 自由席特急券 広島→新大阪（複製） 1点 新幹線博多開業記念券 1点 入鉄済み切符 24点	12月4日～ 3月31日
19	松山市埋蔵文化財センター（松山市考古館）	松山市埋蔵文化財センター（松山市考古館）30周年記念特別展[後期展]「中世・日々の暮らしー福山・草戸千軒町遺跡と松山・宮前川流域の遺跡ー」での展示	草戸千軒町遺跡出土品及び複製品, 中世体験資料 58点	1月8日～ 3月31日
20	広島県立歴史民俗資料館	新春の展示会「春を待つ 三次人形とひな人形ー受け継がれる想いの形ー」での展示	木製形代（人形） 10点 立雛図 1点	1月17日～ 3月下旬
21	広島県立歴史民俗資料館	春の展示会「ひろしま 遺跡再発見！ー高等学校と広島の考古学ー」において展示	府中高校考古資料 178点 豊元國文庫及び豊元國コレクション資料 56点	3月下旬～ 6月30日

Ⅲ 事業の概要

イ 収蔵・保管資料の閲覧

No.	閲覧者	資料名	許可日
1	(公財) ふくやま芸術文化財団福山城博物館	殖蘭図巻 (複製)	4月12日
2	個人	寺町廃寺出土 鷗尾片	6月19日
3	岡山県教育庁文化財課	全て重要文化財『菅茶山関係資料』<文書・記録類> 学校積菜 (近藤重蔵書状写) 積菜ノ時講堂列座ノあらまし [書付] 積菜時の服装について 積菜儀節 音楽目録 閑谷学校正月そなへ物 閑谷学校図/ [閑谷積菜要略]	8月8日
4	岡山理科大学 生物地球学部	①草戸千軒町遺跡出土 イノシシ頭蓋, 上顎骨 ②草戸千軒町遺跡出土 タイ科骨格 ③草戸千軒町遺跡出土 土錘	8月19日
5	昭和女子大学	重要文化財『菅茶山関係資料』 [書画類] 及び [書状類] 資料 27点	9月14日
6	茨木大学 教育学部	守屋壽コレクション 23点	9月19日
7	立命館大学 文学部	(年不詳) 9月25日付け 増田長盛書状 (年月日不詳) 毛利輝元書状「三原城城壁文書」 厳島図屏風	9月16日
8	富山大学 人文学部	石鎚山第1号古墳第1号主体部出土 翡翠製勾玉 石鎚山第1号古墳第1号主体部出土 琥珀製勾玉	10月14日
9	福山大学	『黄葉夕陽文庫目録Ⅲ 日記・草稿篇』 掲載資料 10点	11月12日
10	松山市埋蔵文化財センター (松山市考古館)	草戸千軒町遺跡出土品及び複製品 55点	11月29日 11月30日
11	出雲市市民文化財課 (出雲弥生の森博物館)	曲第2号古墳出土短甲	2月12日

ウ 写真原版・デジタルデータの使用

No.	申請者	利用目的	利用区分	資料名	許可日
1	高知県立坂本龍馬記念館	高知県立坂本龍馬記念館本館2階「海の見える・ぎゃらりい」で展示するための人物写真パネルに掲載	写真原版 (デジタルデータ)	Portrait of Commodore Perry (W. ハイネ画)	4月5日
2	白河集古苑	小峰城歴史館 (平成31年4月下旬オープン予定) において、小峰城と白河の歴史を解説するパネルに掲載	写真原版	白河古関蹟真景図 (『書画貼交屏風』所収)	4月5日
3	島根県立古代出雲歴史博物館	島根県立古代出雲歴史博物館企画展「たたら一鉄の国 出雲の実像」における展示図録・パネル及び広告媒体等に使用	写真撮影 その他 (転載)	草戸千軒町遺跡 航空写真 草戸千軒Ⅰ展示室 ジオラマ写真 草戸千軒町遺跡出土品	4月10日
4	個人	模型作製の参考	写真撮影	遣明船模型	4月13日
5	神奈川県立歴史博物館	特別展「北からの開国ー海がまもり、海が見つないだ日本ー」の図録、ポスター・チラシ等の掲載及びパネル展示のため	写真原版 (デジタルデータ)	レザノフ関連資料屏風 (貼り混ぜ) 瓊浦筆記 露西亞人図	5月10日
6	日本女子大学	研究及び論文執筆のため	写真原版 (デジタルデータ)	日本扶桑国之図	5月17日
7	鎌倉歴史文化交流館	鎌倉歴史文化交流館市制80周年企画展「鎌倉グルメ in 中世」の展示パネル及び展示解説パンフレットに掲載	写真原版 (デジタルデータ)	中世の食器	5月25日

Ⅲ 事業の概要

8	個人	本年刊行予定の学術書「図説総覧江戸時代に刊行された世界地図」及び同書の英訳“Illustrated Catalogue of Maps of the World published in Japan in Edo Period”へ掲載	写真原版 (デジタルデータ)	「万国総図・世界人物図」 「円球万国地海全図」	5月30日
9	個人	文化財保存修復学会ポスター発表のポスター「近世大名墓における副葬品としての香道具の調査－島原藩主松平忠雄の例－」に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	聞香札「二」「わかな」 (43X00002) 聞香札「はゝきゝ」「一」 (43X00005) 聞香札「二」「あふひ」 (43X00006)	5月30日
10	株式会社ゆまに書房	『ビジュアル日本の住まいの歴史②中世』第3章「庶民の住まい」第3項「一般の住まい」へカラー挿図として掲載	写真原版 (デジタルデータ)	草戸千軒展示室「実物大復原写真」	5月30日
11	福山市	ふくやま環境大学のチラシに掲載	写真原版 (デジタルデータ)	「菅波信道一代記」 全編巻之一 茶山之間塾にて学問之図	5月30日
12	株式会社かみゆ	『国際情勢がよくわかる世界史×日本史ビジュアルクロニクル(仮)』に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	遣明船模型	6月4日
13	自由民権現代研究会	「自由民権運動の壮士たち」にネット上にて掲載	写真原版 (デジタルデータ)	明治初期の備後の自由民権運動家たち 窪田次郎の肖像画 民選議院の儀についての願書 矢野権令への献言書 小田県蛙鳴群の規約 雑税廃止及び輸出入税付加の建言 奉天匡救の諸君に質す 地租改正につき嘆願への指令書	6月4日
14	京都新聞社	7月25日付け朝刊の連載企画「文遊回廊」に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	月下巨椋湖舟遊図	6月6日
15	日田市教育庁威宜園教育研究センター	日田市広報「広報ひた」コラム「淡窓・威宜園と交流のあった文人・墨客たち」に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	菅茶山肖像画	6月13日
16	(公財)ふくやま芸術文化財団福山城博物館	水野勝成福山入封400年記念特別展「福山藩の誕生－初代勝成から五代勝岑まで－」の図録に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	殖蘭図巻	6月14日
17	個人	研究資料	写真撮影	中世 日本陶器 中世 中国陶器 近世 保命酒	6月30日
18	富山市猪谷関所館	企画展「神通峡のかけ橋～籠渡しから橋梁へ」のパネル展示及びポスター・チラシに掲載 「籠渡し」コーナーへ永続的にパネル展示	写真原版 (デジタルデータ)	飛驒籠渡図	7月3日
19	広島県立美術館	「江戸時代の広島県の歴史」にパネル展示	写真原版 (デジタルデータ)	菅茶山肖像画 廉塾の筆洗場 殖蘭図巻	7月4日
20	個人	本年刊行予定の学術書「図説総覧江戸時代に刊行された世界地図」及び同書の英訳“Illustrated Catalogue of Maps of the World published in Japan in Edo Period”へ掲載	写真原版 (デジタルデータ)	「世界人物図」 「万国総図」	7月4日

Ⅲ 事業の概要

21	尾道市	因島水軍城特別展「関船から弁才船へ～瀬戸内海における軍船から廻船への歴史」に写真パネルとして展示するとともに、関連講演会で使用	写真原版 (デジタルデータ)	遣明船模型	7月10日
22	個人	高梁川流域連盟発行『高梁川』77号「新発見の菅茶山詩歌」に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	菅茶山肖像画	7月10日
23	平田玉蘊顕彰会	尾道市他助成金申請に関する他の顕彰会活動記録書類を作成	写真原版 (デジタルデータ)	平成27年度秋の企画展「平田玉蘊展」記録写真 開会式テープカット 展示解説会 記念講演会	7月24日
24	同志社大学 グローバル地域文化学部	『Japón en su historia. De los primeros pobladores a la era Reiwa』に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	草戸千軒展示室「実物大復原写真」	7月25日
25	テレビ朝日	テレビ朝日「ぶっちゃけ寺」で放映	テレビ撮影 写真原版 (デジタルデータ)	大坂冬の陣図 大坂夏の陣図	7月27日
26	株式会社鞆スコレ・コーポレーション	潮待ちホテルロビーで上映	写真原版 (デジタルデータ)	ラングレン東アジア図 ニコラス・サンソン日本図 シャトラン日本図 ケンペル日本図 ピンカートン日本図 シーボルト『日本』 テイセラ日本図 ブリエ日本図 ベラン日本図 ザッタ日本図 モンタヌス・長崎～大坂図(部分)	8月4日
27	公益財団法人広島市文化財団(広島城)	企画展「えがかれた江戸時代の広島」の展示図録及び広報用印刷物に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	縮景園全図(浅野侯別邸泉邸図) 中国行程記 二	8月8日
28	広島県立歴史民俗資料館	令和元年度秋の特別企画展「守屋壽コレクションの精華ー国内最大級の古地図コレクションー」に係る展示パネル・広報資料・刊行物等への掲載	写真原版 (デジタルデータ)	守屋壽コレクション 44点	8月18日
29	岡山理科大学 生物地球学部	岡山理科大学生物地球学部富岡ゼミ生の卒論製作	写真撮影	草戸千軒町遺跡出土 イノシシ頭蓋, 上顎骨 草戸千軒町遺跡出土 タイ科骨格 草戸千軒町遺跡出土 土錘	8月19日
30	有限会社オフィスJ.B	『空から日本をしてみよう DVD コレクション 99 広島県福山市』に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	草戸千軒展示室「実物大復原写真」	8月31日
31	株式会社岩波書店	末木文美士著『日本思想史』に挿図(モノクロ)として掲載	写真原版 (デジタルデータ)	日本扶桑国之図	9月14日
32	華道専正池坊・日本礼道小笠原流	季刊誌『花茶花 2019年秋号』コラムに掲載	写真原版 (デジタルデータ)	魚住甕	9月19日
33	宗像市教育委員会	令和元年度海の道むなかた館特別展での複製展示及び図録掲載	写真原版 (デジタルデータ)	日本扶桑国之図	9月27日

Ⅲ 事業の概要

34	株式会社かみゆ	『キッズペディア歴史館～日本史の重大事件 そのとき世界は～』（小学館）に掲載	写真原版 （デジタルデータ）	草戸千軒町遺跡出土の銭塊・金銭関係木簡	9月27日
35	広島県立歴史民俗資料館	三次市立和田小学校6年生アウトリーチ「寺町廃寺跡と当時の暮らし」において、プロジェクターで画像を投影	写真撮影	寺町廃寺伽藍模型	10月11日
36	広島県NIE推進協議会	第91回広島県NIE学習会の新聞づくりの素材として活用	写真撮影	体験展示 説明文	10月12日
37	昭和女子大学	『美術史』第187冊掲載論文「南山古梁文・谷文晁画『宮城野聚勝園記』をめぐる一考察」に図版として使用	その他（転載）	南湖勝覧	10月17日
38	個人	第20回古代瓦研究会シンポジウム資料集『鷗尾・鬼瓦の展開Ⅰー鷗尾ー』に掲載	その他（実測図・拓本）	寺町廃寺出土 鷗尾片	10月23日
39	株式会社旺文社	『小学総合的研究わかる社会 改訂版』に掲載	その他（転載）	草戸千軒展示室 実物大復原写真	10月25日
40	株式会社ニュースクリエイト	J:COMのケーブルテレビ『歴史を歩く』（12月放送・足利義昭編）で放送及びスマホアプリ「ど・ろーかる」においても1年間、無料で配信	テレビ撮影	北畠中将宛足利義昭御内書	10月25日
41	三次市立和田小学校	総合的な学習の時間の資料として使用 （校内及び三次市民ホールきりりにおける発表のために使用）	写真原版 （デジタルデータ）	寺町廃寺伽藍模型	10月30日
42	日本文教出版株式会社	令和3年度文部科学省検定中学校社会科歴史教科書「中学社会歴史的分野」及び拡大教科書をはじめとする関連出版物等へ掲載	その他（自社撮影写真）	草戸千軒展示室 実物大復原模型 足駄屋内写真	11月2日
43	公益財団法人広島市文化財団（広島城）	企画展「江戸時代の天文学」における展示及び広報用印刷物へ写真掲載	写真原版 （デジタルデータ）	方円星図（No.91C00827）全図	11月22日
44	埼玉県立歴史と民俗の博物館	常設展示室第3室「武蔵武士の生活」コーナーの解説パネルで永続的に使用	写真原版 （デジタルデータ）	石鍋（24Q00382）	11月22日
45	京都新聞社 中国新聞社	中国新聞社及び京都新聞社共催の文化フォーラム採録紙面に掲載	写真原版 （デジタルデータ）	月下巨椋湖舟遊図	11月22日
46	湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次ものけミュージアム）	常設展示室「稲生物怪録」でのパネル展示、SNS（Facebook, Twitter）での広報、広報誌「もののけだより」に掲載	写真原版 （デジタルデータ）	備後国名勝巡覧大絵図	12月4日
47	周防大島文化交流センター	企画展「宮本常一、旅と鉄道」において、パネル展示及びスライドショー展示	写真原版 （デジタルデータ）	鉄道風景写真（撮影：細川延夫）	12月4日
48	株式会社日本アート・センター	講談社発行『タテ割り日本史』（全5巻）のうち第2巻「衣服の日本史」に掲載	写真原版 （デジタルデータ）	草戸千軒展示室 実物大復原模型写真	12月11日
49	日本文教出版株式会社	令和3年度文部科学省検定中学校社会科歴史教科書「中学社会歴史的分野」及び拡大教科書をはじめとする関連出版物等へ掲載	その他（HP画面キャプチャ）	ホームページ 草戸千軒展示室「よみがえる草戸千軒」 https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/kusado-1.html	12月11日
50	株式会社ユニテッドプロダクションズ	NHK「有吉お金発見 突撃！カネオくん」の番組内で使用	写真原版 （デジタルデータ）	大永六年八月一日付け毛利元就任官状 （児玉家文書）	12月12日

Ⅲ 事業の概要

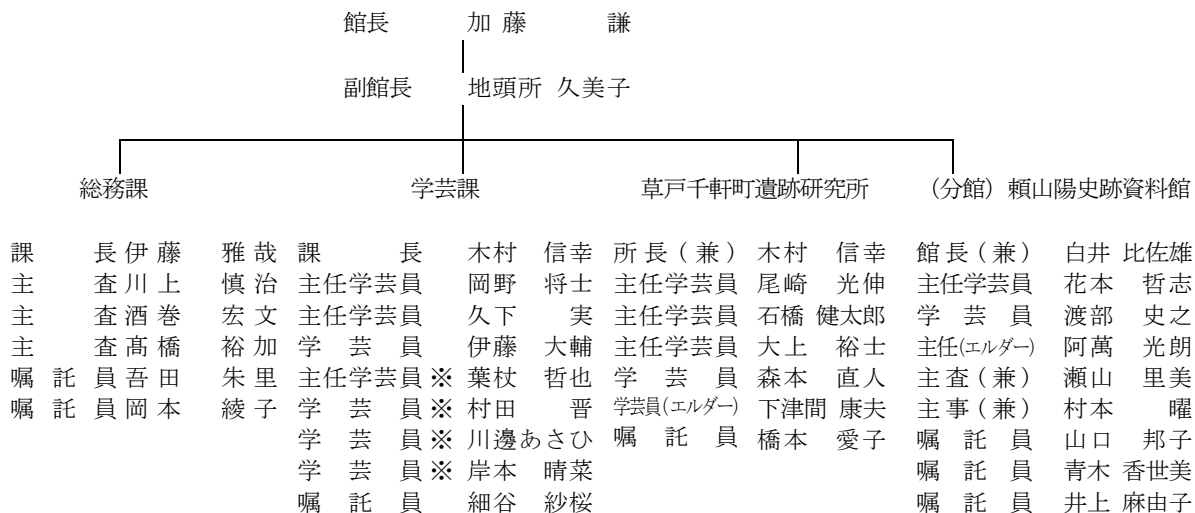
51	福山大学	福山大学人間文化学部の文化フォーラムにおける発表で使用	写真撮影	黄葉夕陽村舎文 菅茶山経説 浩気説 浩気説	12月13日
52	株式会社博報堂ケトル	株式会社博報堂ケトル「ミュージアムポータルサイト」の広島県ミュージアム一覧の中に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	外観写真 近世文化展示室写真	12月21日
53	松山市埋蔵文化財センター(松山市考古館)	令和元年度松山市埋蔵文化財センター(松山市考古館)30周年記念特別展[後期展]「中世・日々の暮らし～福山・草戸千軒町遺跡と松山・宮前川流域の遺跡～」での印刷物(ポスター・チラシ・観覧券)に掲載	写真原版 (デジタルデータ) その他(資料閲覧時に撮影した画像)	行き交う人々(部分抜粋) 下駄 19(17W00025) 土師質土器 385 A II (32000086) 土師質土器 31 皿 A (11000019) 銭塊 1 (29C00654) 土師質土器 20 鍋 B (10000025) 土師質土器 甕 1 (08000058) 備前 播鉢 (19000048)(未指定品) 播粉木 1 (22W00058) 食膳の復元一式	12月27日
54	テレビ朝日	令和元年8月12日(日)に放送した番組「ぶっちゃけ寺」を再放送(12/28(土)再放送)	テレビ撮影 写真原版 (デジタルデータ)	大坂冬の陣図 大坂夏の陣図	12月27日
55	松山市埋蔵文化財センター(松山市考古館)	令和元年度松山市埋蔵文化財センター(松山市考古館)30周年記念特別展[後期展]「中世・日々の暮らし～福山・草戸千軒町遺跡と松山・宮前川流域の遺跡～」での展示解説書への掲載及び展示(展示パネル、テレビ・プロジェクター映像機器による映写)のため	写真原版 (デジタルデータ) その他(資料閲覧時に撮影した画像)	草戸千軒町遺跡関連画像	1月5日
56	株式会社ゼンリン	ゼンリンミュージアム(令和2年4月19日開館予定)において、年代毎の国絵図を紹介する展示パネル(最大A4サイズ)に使用	写真原版 (デジタルデータ)	松浦静山旧蔵日本全図(「享保の日本図」) 日本図	1月30日
57	公益財団法人 馬事文化財団	2020年度馬の博物館テーマ展「生類憐みの日本史～馬から犬まで～」にA1又はA2サイズでパネル展示する。(開催期間:令和2年2月22日(土)～4月19日(日)52日間)	写真原版 (デジタルデータ)	草戸千軒町遺跡(第36次)出土の犬骨写真	2月8日
58	株式会社第一学習社	高等学校用国語教科書『言語文化』及び『精選言語文化』、並びにそれぞれのデジタル教科書に『土佐日記』の参考資料として掲載	写真原版 (デジタルデータ)	貨客両用船模型	2月12日
59	広島県立歴史民俗資料館	みよし風土記の丘ミュージアム常設展示ガイドブックに掲載	写真撮影 その他(転用)	馬取遺跡出土縄文土器 寺町廃寺出土軒丸瓦 寺町廃寺伽藍模型	2月12日
60	個人	『中世考古学やきものガイドブック』に口絵として掲載	写真原版 (デジタルデータ)	魚住甕	2月12日
61	株式会社碧水社	『タテ割り日本史』第4巻「乗り物の日本史」に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	遣明船模型	2月12日
62	岡山理科大学	令和元年8月に日本爬虫両棲類学会の国際学術雑誌「Current Herpetology」に掲載した草戸千軒町遺跡出土のクサガメ骨遺存体に関する論文内容の紹介文を、神戸市立須磨海浜水族園発行の「亀楽」	その他(申請者撮影画像)	クサガメ遺存体(30A00392)	2月18日

Ⅲ 事業の概要

		誌へ掲載			
63	個人	小説『～草戸千軒哀歌ミステリー～やぐらは語る』に掲載	その他（申請者撮影画像）	錢匱（重要文化財） 伏鉢（複製） 釘（重要文化財） 手斧（複製）	2月21日
64	株式会社清風堂書店	『習熟プリント社会 小学6年』に掲載	写真原版（デジタルデータ）	草戸千軒展示室実物大復原 足駄屋の食事	2月21日
65	個人	『中世考古学やきものガイドブック』の本文に指図として掲載	写真原版（デジタルデータ）	瓦器灯籠（32000142）	2月28日
66	NHK制作局	教育番組「歴史にドキリ」での放映及びNHKポータルサイト・番組広報に掲載 （利用期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日）	その他（自社撮影画像のストリーミング配信・再放送）	宋銭の塊（銅銭1（29C00654）） 中国産陶磁器（草戸千軒展示室） 市場の風景（草戸千軒展示室）	2月28日
67	株式会社山川出版社	文部科学省検定済教科書 準拠ノート『中学歴史 日本と世界』に掲載	その他（転載）	草戸千軒展示室 実物大復原 模型	2月28日
68	株式会社童夢	小学生向け社会科学習書籍『日本地理』（全7巻の第5巻）に掲載	写真原版（デジタルデータ）	草戸千軒展示室 実物大復原 模型写真	2月28日
69	福山城博物館	福山城築城400周年記念特設サイト内『動画・よみがえる福山城』『歴代藩主紹介ページ』において公開 （公開期間：令和2年4月1日〔水〕～令和5年3月31日〔金〕）	写真原版（デジタルデータ）	殖蘭図巻 菅茶山肖像画	3月11日
70	広島県立歴史民俗資料館	令和2年度春の展示会「ひろしま遺跡再発見！～高等学校と広島県の考古学～」の広報資料（ポスター・チラシ等）に掲載	その他（自館撮影画像）	府中高校考古資料・豊元國コレクション画像 （出土遺物・図面等）	3月13日
71	株式会社日本入試センター	中学受験を目標とする小学生対象塾内教材（2020年度 進学教室サピックス塾内教材『デイリーサピックス小学5年社会 540-27「応仁の乱と一揆の発生」』）に挿絵として掲載	その他（転載）	足駄屋の食事	3月14日
72	群馬県教育委員会	令和2年度群馬県公立高等学校入学選抜学力検査問題「社会」大問4におけるパネルⅡの資料として使用及び群馬県のホームページに掲載	その他（転載）	『真如堂縁起』に描かれている 遣明船	3月28日

IV 組織及び運営

1 職員組織図



※は広島県立歴史民俗資料館職員で、当館職員を兼務。

2 事業費・運営費

区分	内容	金額(単位 千円)
企画展等開催費	企画展, 特別部門展の開催	17,853
学習支援費	博物館講座, こども博物館教室などの開催 ボランティア活動等	804
調査研究活動費	各種調査研究, テーマ研究	557
資料調査・収集・購入・作成費	資料整理, 保存処理, 資料作成購入等	6,921
維持運営費	博物館の維持管理運営	81,046
施設修繕	非常用発電設備更新等	0
合計		107,181

V 関係法規

1 広島県立歴史博物館設置条例

平成元年七月七日条例第二十三号

改正

平成 六年 三月二九日条例第三号

平成 九年 三月二六日条例第三号

平成一〇年 三月二四日条例第五号

平成一三年 三月二六日条例第三号

平成一四年 三月二五日条例第一八号

平成二七年 三月一六日条例第二一号

平成二八年 三月二二日条例第七号

平成三一年 三月八日条例第五号

広島県立歴史博物館設置条例をここに公布する。

広島県立歴史博物館設置条例

(設置)

第一条 郷土の歴史に関する県民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号）第十八条の規定に基づき、広島県立歴史博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

2 博物館に、分館として頼山陽史跡資料館（以下「分館」という。）を設置する。

一部改正〔平成二七年条例二一号〕

(位置)

第二条 博物館（分館を除く。）の位置は、福山市西町二丁目とする。

2 分館の位置は、広島市中区袋町とする。

一部改正〔平成二七年条例二一号〕

(業務)

第三条 博物館は、次の業務を行う。

- 一 郷土の歴史に関する資料を収集し、保管し、及び展示すること。
- 二 前号の資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 三 分館の茶室（以下「施設」という。）を一般の利用に供すること。
- 四 その他博物館の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

一部改正〔平成二七年条例二一号〕

(職員)

第四条 博物館に、館長その他の必要な職員を置く。

2 館長は、博物館の業務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

(使用の許可)

V 関係法規

第五条 施設を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

追加〔平成二七年条例二一号〕

(入館料等の納付)

第六条 博物館の展示する資料を観覧する者は入館料を、施設を使用しようとする者は施設使用料を納付しなければならない。

- 2 入館料及び施設使用料（以下「入館料等」という。）の額は、別表のとおりとする。
- 3 知事は、特別の理由があると認めるときは、入館料等を減免することができる。
- 4 既納の入館料等は、返還しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、施設使用料の全部又は一部を返還することがある。

一部改正〔平成一〇年条例五号・二七年二一号〕

(遵守事項)

第七条 博物館においては、次の事項を遵守しなければならない。

- 一 展示資料、展示設備等に触れないこと。
- 二 許可を受けずに、展示資料の模写又は撮影をしないこと。
- 三 館内においては、静粛にし、他人に迷惑を掛けないこと。
- 四 所定の場所以外の場所で喫煙し、又は飲食をしないこと。
- 五 その他教育委員会が定める事項

一部改正〔平成二七年条例二一号〕

(教育委員会規則への委任)

第八条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

一部改正〔平成一三年条例三号・二七年二一号〕

附 則

この条例は、公布の日から起算して五月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。（平成元年一〇月規則第七三号で、平成元年十一月三日から施行）

附 則（平成六年三月二九日条例第三号抄）

(施行期日)

- 1 この条例は、平成六年四月一日から施行する。

附 則（平成九年三月二六日条例第三号抄）

(施行期日)

- 1 この条例は、平成九年四月一日から施行する。（後略）

附 則（平成一〇年三月二四日条例第五号抄）

(施行期日)

- 1 この条例は、平成十年四月一日から施行する。（後略）

附 則（平成一三年三月二六日条例第三号抄）

(施行期日)

- 1 この条例は、平成十三年四月一日から施行する。

V 関係法規

附 則（平成一四年三月二五日条例第一八号）

この条例は、平成十四年四月一日から施行する。

附 則（平成二七年三月一六日条例第二一号）

この条例は、公布の日から起算して三月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。（平成二七年四月規則第四〇号で、平成二七年五月一日から施行）

附 則（平成二八年三月二二日条例第七号）

この条例は、平成二十八年四月一日から施行する。

附 則（平成三一年三月八日条例第五号抄）

（施行期日）

1 この条例は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日から施行する。

一～三 略

四 前三号に掲げる規定以外の規定 平成三十一年十月一日

別表（第六条関係）

一 入館料

1 通常の展示の場合

区分	利用者	個人	団体（二〇人以上の場合とする。）
博物館（分館を除く。）	大学生及びこれに準ずる者	一人一回 二一〇円	一人一回 一六〇円
	その他満一五歳以上の者	一人一回 二九〇円	一人一回 二二〇円
分館	大学生及びこれに準ずる者	一人一回 一五〇円	一人一回 一二〇円
	その他満一五歳以上の者	一人一回 二〇〇円	一人一回 一六〇円

備考 この表において「その他満一五歳以上の者」とは、中学校又は高等学校の生徒及びこれに準ずる者を除く満十五歳以上の者をいう。

2 特別の展示の場合

一人一回 一、〇四〇円以内で知事が定める額

二 施設使用料

一時間までごとに 二、〇三〇円

全部改正〔平成二七年条例第二一号〕、一部改正〔平成二八年条例第七号〕

2 広島県立歴史博物館管理運営規則

平成元年十月二十三日教育委員会規則第九号

改正

平成 元年十一月三〇日教育委員会規則第一一号

平成 四年 八月二四日教育委員会規則第一〇号

平成 六年 四月 一日教育委員会規則第七号

平成 七年 三月 六日教育委員会規則第二号

平成 七年一〇月 一日教育委員会規則第一四号

平成 八年 四月 一日教育委員会規則第五号

平成 九年 四月 一日教育委員会規則第六号

平成一三年 三月二九日教育委員会規則第四号

平成一三年 三月二九日教育委員会規則第五号

平成一三年一〇月二二日教育委員会規則第七号

平成一四年 四月 一日教育委員会規則第一〇号

平成一九年一二月二六日教育委員会規則第一三号

平成二七年 四月三〇日教育委員会規則第九号

平成二八年 三月三十一日教育委員会規則第五号

平成三十年 二月一九日教育委員会規則第一号

平成三十年 三月二二日教育委員会規則第三号

広島県立歴史博物館管理運営規則を次のように定める。

広島県立歴史博物館管理運営規則

(趣旨)

第一条 この教育委員会規則は、広島県立歴史博物館（以下「博物館」という。）の管理及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第二条 博物館（頼山陽史跡資料館（以下「分館」という。）を除く。）の開館時間は、午前九時から午後五時までとする。

2 分館の開館時間は、午前九時三十分から午後五時までとする。

3 教育長は、必要があると認めるときは、前二項の開館時間を臨時に変更することができる。

(休館日等)

第三条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

一 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和二十三年法律第七十八号。以下「法律」という。）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日後においてその日に最も近い日曜日、土曜日又は休日以外の日）

二 一月一日から同月四日まで及び十二月二十八日から同月三十一日まで

V 関係法規

2 教育長は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

3 教育長は、前項の規定により臨時に休館し、又は開館しようとするときは、あらかじめ、公告するものとする。

(施設の使用の申込み等)

第四条 分館の茶室(以下「施設」という。)を使用しようとする者は、施設使用申込書を教育長に提出し、広島県立歴史博物館設置条例(平成元年広島県条例第二十三号。以下「条例」という。)第五条の許可(以下「使用許可」という。)を受けなければならない。

2 施設の使用の申込みは、使用期日の六月前から使用当日までの間にしなければならない。ただし、教育長が特別の理由があると認める場合は、この限りでない。

(施設使用許可書の交付等)

第五条 教育長は、施設の使用許可をしたときは、施設使用許可書をその者に交付する。

2 前項の施設使用許可書は、施設を使用する際必ず携帯し、係員の請求があるときは、これを提示しなければならない。

(入館券の購入等)

第六条 博物館の展示する資料等を観覧しようとする者は、入館前に、入館券を購入しなければならない。

2 施設使用料は、施設の使用の許可を受ける際に納付しなければならない。

3 第一項の規定により入館券を購入した者は、博物館に入館する際には、入館券を係員に提示しなければならない。

4 入館券は、これを返還して現金の還付を受け、又は紛失その他の理由によっても再交付を受けることができない。

5 著しく汚染し、又は損傷した入館券は、無効とする。

(施設使用料の返還)

第七条 条例第六条第四項ただし書の規定により、教育長は、使用許可を受けた者がその責めに帰すことができない理由により使用することができない場合は、当該施設使用料の全額を返還する。

2 前項の規定により施設使用料の返還を受けようとする者は、施設使用料返還申請書に第五条第一項の施設使用許可書を添えて、教育長に提出しなければならない。

(入館料の免除)

第八条 次の各号に掲げる者については、それぞれ当該各号に定める展示に係る入館料を免除する。

一 身体障害者手帳の交付を受けている者 通常の展示又は特別の展示

二 戦傷病者手帳の交付を受けている者 通常の展示又は特別の展示

三 療育手帳の交付を受けている者 通常の展示又は特別の展示

四 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者 通常の展示又は特別の展示

五 満六十五歳以上の者 通常の展示

六 県内の大学又はこれに準ずる学校に在学する外国人留学生 通常の展示

七 幼保連携型認定こども園又は幼稚園、小学校、中学校、高等学校若しくはこれらに準ずる学校の校長(幼保連携型認定こども園及び幼稚園にあつては、園長)が学校教育活動であることを証明した場合の当該幼保連携型認定こども園の幼児又は当該幼稚園の幼児、当該小学校の児童、当該中学校若しくは当該高等学校の生徒若しくはこれらに準ずる者(以下「幼児等」という。) 特別の展示

V 関係法規

八 幼児等の引率者 通常の展示又は特別の展示

九 特別の展示と併せて通常の展示を観覧する者 通常の展示

2 次の各号のいずれかに該当する者については、広島県教育委員会が行う展示に係る入館料を免除する。

一 法律第二条に規定するこどもの日における小学校の児童、中学校の生徒又はこれらに準ずる者

二 法律第二条に規定する文化の日における入館者

三 ひろしま教育の日を定める条例（平成十三年広島県条例第四十号）第三条に規定するひろしま教育ウィークにおける小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者

3 前二項のほか、教育長が特別の理由があると認めるときは、入館料を減免することができる。

4 第一項第一号から第八号までのいずれかに該当し、入館料の免除を受けようとする者は、該当することを証する書類を提示しなければならない。

（施設使用料の免除）

第九条 次の要件に該当する場合は、施設使用料を免除する。

一 幼児等が利用するとき。

二 県が共催する事業を行うために使用するとき。

2 前項のほか、教育長が特別の理由があると認めるときは、施設使用料を減免することができる。

（遵守事項）

第十条 博物館においては、条例第七条第一号から第四号までに掲げる事項のほか、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

一 展示資料、展示設備等をき損し、又は汚損しないこと。

二 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑となるおそれのある物を携行しないこと。

三 その他係員の指示に従うこと。

（禁止行為）

第十一条 博物館においては、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、教育長の許可を受けた場合は、この限りでない。

一 行商その他これに類する行為

二 寄附の募集

三 宣伝その他これに類する行為

四 広告物の掲示若しくは配布又は看板、立札類の設置

（入館の制限等）

第十二条 教育長は、前二条の規定に違反するおそれのある者又はこれらの規定に違反した者に対して、博物館への入館を拒否し、又は博物館からの退去を命ずることができる。

（損害の責任）

第十三条 博物館の展示資料又は施設若しくは設備をき損し、汚損し、又は滅失した者は、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

（補則）

第十四条 この教育委員会規則に定めるもののほか、博物館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則（平成元年十一月三〇日教育委員会規則第一一号抄）

（施行期日）

- 1 この教育委員会規則は、平成元年十二月一日から施行する。

附 則（平成四年八月二四日教育委員会規則第一〇号）

この教育委員会規則は、平成四年九月一日から施行する。

附 則（平成六年四月一日教育委員会規則第七号）

この教育委員会規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成七年三月六日教育委員会規則第二号）

この教育委員会規則は、平成七年四月一日から施行する。

附 則（平成七年一月一日教育委員会規則第一四号）

（施行期日）

- 1 この教育委員会規則は、公布の日から施行する。

（経過措置）

- 2 この教育委員会規則の施行の際現に障害の状態に関する証明書の交付を受けている者については、改正後の規定にかかわらず、当該証明書の有効期間に限り、なお従前のおり取り扱うものとする。

附 則（平成八年四月一日教育委員会規則第五号）

この教育委員会規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成九年四月一日教育委員会規則第六号）

この教育委員会規則は、平成九年四月一日から施行する。

附 則（平成一三年三月二九日教育委員会規則第四号）

この教育委員会規則は、平成十三年四月一日から施行する。

附 則（平成一三年三月二九日教育委員会規則第五号）

この教育委員会規則は、平成十三年四月一日から施行する。

附 則（平成一三年一月二二日教育委員会規則第七号）

この教育委員会規則は、平成十三年十一月一日から施行する。

附 則（平成一四年四月一日教育委員会規則第一〇号）

この教育委員会規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成一九年一月二六日教育委員会規則第一三号）

この教育委員会規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成二七年四月三〇日教育委員会規則第九号）

この教育委員会規則は、広島県立歴史博物館設置条例の一部を改正する条例（平成二十七年広島県条例第二十一号）の施行の日から施行する。

附 則（平成二八年三月三十一日教育委員会規則第五号）

この教育委員会規則は、平成二十八年四月一日から施行する。

附 則（平成三〇年二月一九日教育委員会規則第一号）

この教育委員会規則は、平成三十年四月一日から施行する。

附 則（平成三〇年三月二二日教育委員会規則第三号）

この教育委員会規則は、平成三十年四月一日から施行する。

3 広島県教育委員会組織規則（抜粋）

平成九年四月一日教育委員会規則第四号

第四章 学校以外の教育機関

第八節 歴史博物館

（名称及び位置）

第四十七条 広島県立歴史博物館設置条例（平成元年広島県条例第二十三号）第一条の規定により設置された広島県立歴史博物館（以下「歴史博物館」という。）の名称及び位置は次のとおりである。

名称	位置
広島県立歴史博物館	福山市西町二丁目

（業務）

第四十八条 歴史博物館は、次に掲げる業務を行う。

- 一 郷土の歴史に関する資料を収集し、保管し、及び展示すること。
- 二 前号の資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 三 その他博物館の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

（内部組織）

第四十九条 歴史博物館に次の課等を置く。

総務課

学芸課

草戸千軒町遺跡研究所

頼山陽史跡資料館

（各課等の分掌事務）

第五十条 歴史博物館の各課等の分掌事務は、次のとおりとする。

総務課

- 一 公印の管理に関すること。
- 二 文書及び物件の收受、発送及び整理保存に関すること。
- 三 館員の人事、給与、服務及び福祉厚生に関すること。
- 四 令達予算の執行に関すること。

V 関係法規

- 五 施設及び設備の管理保全に関すること。
- 六 前各号のほか、館内の連絡調整及び他課等の所掌に属しない館務に関すること。

学芸課

- 一 郷土の歴史（中世を除く。）に関する実物、標本、模写、模型、文献、写真、フィルム等の博物館資料（以下「中世以外の博物館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
- 二 中世以外の博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 三 中世以外の博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- 四 中世以外の博物館資料の利用に関し、必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- 五 中世以外の博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- 六 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

草戸千軒町遺跡研究所

- 一 郷土の歴史（中世に限る。）に関する実物、標本、模写、模型、文献、写真、フィルム等の博物館資料（以下「中世博物館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
- 二 中世博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 三 中世博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。
- 四 中世博物館資料の利用に関し、必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- 五 中世博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- 六 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

頼山陽史跡資料館

- 一 頼山陽に関する実物、標本、模写、模型、文献、写真、フィルム等の博物館資料（以下「頼山陽に関する博物館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
- 二 頼山陽に関する博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 三 頼山陽に関する博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。
- 四 頼山陽に関する博物館資料の利用に関し、必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- 五 頼山陽に関する博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- 六 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

第九節 削除

第五十一条から第五十八条まで 削除

第十節 削除

第五十九条から第六十二条まで 削除

第五章 附属機関

(附属機関)

第六十三条 法令又は条例の定めるところにより設置された附属機関の名称、目的及びその主管課は、次のとおりとする。

主管課	名称	目的
文化財課	広島県博物館協議会	広島県立美術館、広島県立歴史民俗資料館及び広島県立歴史博物館の運営に関し、教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対して意見を述べること。

附 則（平成三十一年三月二二日教育委員会規則第四号）

この教育委員会規則は、平成三十一年四月一日から施行する。

4 広島県博物館協議会条例

平成十三年三月二十六日条例第三号

広島県博物館協議会条例をここに公布する。

広島県博物館協議会条例

（設置）

第一条 広島県教育委員会（以下「教育委員会」という。）に、広島県博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、広島県立美術館、広島県立歴史民俗資料館及び広島県立歴史博物館の運営に関し教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対して意見を述べる機関とする。

（組織）

第二条 協議会は、委員十五人以内で組織する。

2 委員は、教育委員会が任命する。

（委員の任期）

第三条 委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

（会長及び副会長）

第四条 協議会に会長及び副会長各一人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第五条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

V 関係法規

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第六条 協議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(雑則)

第七条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成十三年四月一日から施行する。

(広島県立美術館協議会条例の廃止)

2 広島県立美術館協議会条例（昭和四十三年広島県条例第三十八号）は、廃止する。

(広島県立歴史博物館設置条例の一部改正)

3 広島県立歴史博物館設置条例（平成元年広島県条例第二十三号）の一部を次のように改正する。

第七条を削り、第八条を第七条とする。

広島県立歴史博物館年報 第 31 号

平成 31 年度
(令和元年度)

発行日

令和 3 年 1 月 31 日

編集・発行

広島県立歴史博物館

〒720-0067 広島県福山市西町二丁目 4 - 1

TEL.084-931-2513 FAX.084-931-2514

ホームページアドレス

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/>

E メールアドレス rhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp